

基本目標Ⅰ 創造する力と生きる力、感性豊かな子どもを育む

Ⅰ-1 就学前の子どもたちが文化に触れる機会の重点的な創出

- *0歳児から就学前の子どもたちに対する体験や鑑賞機会を重点的に提供します。
- *ブックスタート事業などを通じて、家庭での取り組みの推進を図ります。
- *保育所、幼稚園などの乳幼児に対する鑑賞や体験の機会の提供に努めます。
- *妊婦や0歳児、乳幼児などが共に参加できる読み聞かせや鑑賞・体験の機会の提供に努めます。
- *子どもたちの文化活動を支える子育て世代への理解の促進に努めます。

Ⅰ-2 子どもたちに対する文化プログラムの充実

- *子どもたちの発達段階やさまざまな心身の状況に対応した鑑賞事業や体験講座などの事業の充実に努めます。
- *公民館、図書館、自然資料館など公共施設を活用し、親子や子どもたちを対象にした講座や事業を促進します。
- *子育て世代が子どもとともに文化活動に参加できる機会の充実に努めます。
- *地域の子どもたちと大人たちの交流機会の創出に努めます。

Ⅰ-3 小中学校などの学校教育機関における文化事業の推進・充実

- *子どもの読書習慣の定着を推進します。
- *子どもたちが文化に直に触れることのできる機会の提供に努めます。
- *子どもたちが日頃の創作活動の成果を発表し、また、お互いが鑑賞できる機会の提供に努めます。
- *図書や楽器など学校での文化活動に必要な学校備品の充実に努めます。
- *郷土の自然や歴史、産業や伝統文化などの郷土学習の推進に努めます。

Ⅰ-4 地域と学校との文化交流の促進

- *地域の伝統行事や学校行事など文化活動を通じた交流を促進します。
- *地域ボランティアなどとの連携による体験学習などの交流を促進します。

Ⅰ-5 子どもたちの文化活動への育成・支援

- *岸和田市の文化の振興と青少年の育成を目的として結成された市の育成団体である岸和田市少年少女合唱団、マドカドラマスクールの活動を支援します。
- *小中学校の音楽会や鑑賞事業の実施を推進します。
- *保育所や幼稚園の鑑賞事業を支援します。
- *府大会などへの出場に対して、リハーサル会場を提供します。
- *市内中学校の文化に関するクラブ活動のは発表会を支援します。
- *青少年の創造や発表機会の創出に努めます。

Ⅰ-6 国際交流の推進

- *各姉妹都市・友好都市との青少年の相互交流を通じた異文化交流を推進します。

基本目標Ⅱ 輪を広げる

Ⅱ-1 発表・鑑賞機会の充実

- *美術に関する分野の公募展である岸和田市市展の充実・発展に努めます。
- *市の育成団体である岸和田市音楽団、岸和田市少年少女合唱団、マドカドラマスクールの定期演奏会や定期公演など、より多くの市民が鑑賞できる事業を推進します。
- *マドカ合唱祭や岸和田フレンドシップコンサートについて実行委員会と協働し、交流の推進や事業の充実・発展に努めます。
- *岸和田市文化祭について、参加者の代表者で構成される文化祭実行委員会をサポートし、事業の充実・発展に努めます。
- *公民館まつりなど身近な公共施設での発表機会の充実に努めます。

Ⅱ-2 高齢者、障害者等の文化活動の充実

- *高齢者趣味の作品展や障害児・者のためのふれあい作品展等について、市民への周知と出品者の確保に努めます。
- *障害のある方の創造する機会を増やす事業展開を行います。

Ⅱ-3 国内外の演奏家や芸術家による演奏会や展覧会の開催

- *浪切ホール指定管理者の企画事業を中心として、優れた国内外の演奏会や、さまざまなジャンルの公演、展覧会の開催を推進します。

Ⅱ-4 文化団体への支援

- *特定のジャンルに限らずに包括的な取り組みをしている岸和田市文化協会、岸和田文化連絡協議会、岸和田文化事業協会の活動を支援し、多くの市民が参加できる取り組みを市と協働して推進します。

Ⅱ-5 文化事業への市民参画

- *実行委員会などの企画やスタッフなど側面での参加など、広く市民が参画できる文化事業の実施に努めます。

Ⅱ-6 文化交流の促進

*文化活動をしている市民・団体、活動をしていない市民、また国内外などさまざまな組み合わせによる多様な交流の機会の創出に努めます。

Ⅱ-7 生涯学習の推進と地域コミュニティの活性化

- *市民の創造活動や体験活動の中心的な役割を果たしている公民館を中心とした生涯学習を引き続き推進します。
- *市民の生涯学習の成果が地域コミュニティの活性化につながるような事業展開を推進します。
- *高齢者の生きがいの創出や青少年の健全育成など、地域で支えるコミュニティ活動の推進に努めます。

Ⅱ-8 行政施策への文化的視点の導入と連携

*文化的な視点を考慮した施策の推進や施策間の連携による文化の振興に努めます。

基本目標Ⅲ まちの魅力を高める

Ⅲ-1 歴史や文化財等への理解の促進と活用

- *地域の歴史や文化財等への理解を促進し、地域の魅力向上につながる取り組みの推進に努めます。
- *子どもたちにも、地域の歴史や文化財に親しみが持てる環境の整備に努めます。
- *地域の歴史に関する取り組みや文化財を活用した文化事業の取り組みに努めます。
- *濱田青陵賞の周知や理解への取り組みを推進します。

Ⅲ-2 伝統行事の保存・継承

- *だんじり祭などの伝統行事の保存・継承の支援や情報発信に努めます。
- *市無形登録文化財である「土生鼓踊り」や、「葛城踊り」を次代に継承していくように支援します。

Ⅲ-3 自然環境や景観との調和

- *豊かな自然環境や景観との調和を図り、次代につながる取り組みを推進します。
- *自然観察会など地域の自然に触れる取り組みの支援に努めます。
- *歴史的まちなみの保全に努めます。

Ⅲ-4 文化施設の整備・充実

*既存の施設が安全に、安心して利用できるための必要な整備に努めます。

Ⅲ-5 イベントを活用した魅力あるまちづくり

*春に開催する「市民フェスティバル」や「灯りイベント」、春・秋の「どんちやか」など、イベントを通じた文化活動の推進に努めます。

Ⅲ-6 伝統工芸品の価値発信、新産業の創出

- *伝統工芸品である桐ダンスの周知や価値の発信に努めます。
- *文化を活かした、新たな産業の創出に努めます。

Ⅲ-7 芸術家の活動拠点の創出の検討

- *芸術家が活動しやすい環境の整備に努めます。
- *アーティスト イン レジデンスなど芸術家の活動拠点の創出について、短・中期の規模から研究・検討を進めます。

基本目標Ⅳ 未来へつなぐ

Ⅳ-1 文化の担い手の育成

- *育成団体である「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」「マドカドラマスクール」の活動を地域活動につなげるとともに、団員の確保について支援していきます。
- *文化活動へより多くの市民が参加できる機会の充実と参加促進に努めます。

Ⅳ-2 活動団体、個人の表彰制度の整備

*文化活動に対する表彰制度を見直し、特に若いアーティストへの表彰や、奨励賞の設置など、幅広い表彰制度の整備に努めます。

Ⅳ-3 情報の収集、発信

- *文化に関するイベント・事業などを周知するため、市内公共施設でのポスター掲示やチラシ配架などに努めます。
- *文化活動の情報の集約とわかりやすい情報発信に努めます。
- *市民や行政内での事業展開における相談機能の充実に努めます。
- *文化施設における情報の共有化を図り、連携体制の充実に努めます。
- *国や民間団体の助成などの情報の周知に努めます。

Ⅳ-4 文化振興基金の活用

- *文化振興基金を活用した事業の展開の推進に努めます。
- *基金の役割などの周知を図り、原資の確保に努めます。

資料 A・B・C について

- ① 文化施設3館(1. 浪切ホール、2. 自泉会館、3. マドカホール)が令和4年度に実施した文化・芸術の事業を対象としています。
- ② 浪切ホールと自泉会館の指定管理者募集時において、計画の第6章で定めた、各施設の役割に沿った事業展開を求めています。
- ③ 浪切ホールは事業本数が多いため、別途、資料 A-2 をご覧ください。
- ④ 自己評価については、資料1と同様に、S・A・B・C の4段階で記載しています。
また、「来場者の満足度」「入場率」「事業実施者の満足度」の3つの側面からも評価を行っています。

資料 D について

- ① 令和4年度に、市の各課が実施した文化・芸術に関連する事業(各種講座や催事・イベント等)を対象としています。
※市制施行 100 周年記念事業として実施した事業は左端に★を記載しています。
※コロナ等で中止になった事業は左端の番号に○を記載しています。
- ② 基本目標・各方向性(別添)は、主たるものから順に左側から記載しています。また、基本目標の番号順に並んでいます。
- ③ 主な対象者、実施内容や課題、今後のビジョンについて、それぞれ記載しています。
- ④ 文化活動の形態、広報活動の媒体、協働・協力した団体、事業費について、それぞれ記載しています。
- ⑤ 自己評価については、当該年度における担当課の意見と、また、事業の計画に対してどのような結果であったのか S・A・B・C の4段階で記載しています。
コロナによる中止になった事業については、途中経過で評価している事業やCで評価をしている事業、評価できずに空欄になっている事業とあります。
S : 計画以上の効果があった
A : ほぼ計画どおり
B : 計画を、やや達成できず
C : 計画を達成できず
- ⑥ 「新規」とは、その年度から取り組んだ事業について、「継続」は、次年度も実施した場合(予定含む)についてそれぞれ○を記載しています。

■ 浪切ホール

※中止となった事業の番号については□で囲んでいます。

ア 伝統芸能や音楽・舞踊等を中心にプロによる優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供に努めること。		26事業
(ア) 館の柱となる事業と位置づける歌舞伎に代表される日本の伝統芸能に対する市民の理解を深めるため、 歌舞伎、文楽、能、狂言など、日本古来より継承される伝統芸能の公演を積極的に実施すること。	…7件(No.7、8-1～3、10、20、29、33、34)	
(イ) オペラ、バレエなどプロによる質の高い舞台芸術を市民に紹介し理解を深める公演を積極的に実施すること。	…3件(No.5、6、23)	
(ウ) 演劇、舞踊、音楽等幅広いジャンルの舞台芸術の鑑賞機会を提供すること。	…14件(No. 3、4、11、12、13、15、16、22、24、26 30、31、32、39)	
(エ) 本市に関係する文化芸術や出身者を広く紹介する公演や展示などの実施に努めること。	…2件 (No. 18、35)	
イ 音楽や演劇、ダンスを様々な形で市民が体験できる機会の提供に努めること。		4事業
(ア) 次世代の文化を担う人材を育成するため、比較的安価な料金、または無料で文化芸術に親しむことができる 事業やアマチュア団体を育成する事業などを実施すること。	…4件(No. <u>9</u> 、17、25、37)	
(イ) 市内の幼・小・中学・高等学校等の芸術鑑賞事業を側面から支援し、その実施を受託するなどに取り組むこと。	…0件	
(ウ) 市や地域の文化団体等の主体と連携した事業を実施すること。	…0件	
ウ 独自の舞台芸術を企画・創造し、地域からの文化づくりの推進に努めること。		2事業
(ア) 文化芸術を担う人材を育成するため、市民が気軽に文化芸術に触れ、主体的に参加・参画できる場を創出すること。	…2件(No. 19、38)	
(イ) 市が主催する市民の文化活動の成果、発表の場である「岸和田市文化祭」や「岸和田市市展」などに対し市に協力すること。	…0件	
(ウ) 市内の文化資源や伝統芸能、自然環境などを活用する事業の創出に努めること。	…0件	
エ 大ホール、小ホール、祭の広場など施設の特色ある機能を活かし、地域や岸和田市の価値やステイタスを高める事業の実施に努めること。		4事業
(ア) 地域の経済活動に結びつける事業を実施すること。	…2件(No. <u>14</u> 、 <u>21</u>)	
(イ) 芸術や文化の創造性を地域の産業や暮らしに結びつけ、クリエイティブで活力ある地域社会の創出に努めること。	…1件(No. 36)	
(ウ) 岸和田市の知名度を広くアピールすること。	…1件(No. 27)	
オ 市域における市民や文化団体等の主体的な文化活動を育成、支援すること。		3事業
(ア) 文化芸術の拠点施設としての機能を活かし、民間施設をも含めた地域の文化施設等との連携・協力を進めるとともに、 人材育成や文化振興の支援に努めること。	…2件(No. <u>1</u> 、40)	
(イ) 市、教育委員会、文化関係団体等と連携・協力し、文化振興計画の推進に努めること。	…1件(No. 28)	
カ 3館(浪切ホール、マドカホール、自泉会館)合同事業による市民参加や体験の機会を創出すること。		1事業
(ア) 他の2館と連携し、音楽や演劇などの分野で企画・創造型の事業を実施し、市民がさまざまな役割を担う舞台づくりに参加 できる事業を実施すること。	…1件(No. 2-1～2)	
キ 和歌山大学サテライトと連携し、地域の振興と活性化の貢献に努めること。		0事業
		…0件

令和4年度浪切ホール企画事業概要									0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	R4年自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者
No.	公演名	計画	公演日			開演時間	会場	入場者数									
1	【中止】春らんまんフェスティバル (人形劇まちかどステージ)	オ - ア	4	10	日		市内各所	中止	○	○			○	新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮しての中止。 春の定番事業で、商工会議所、商店街のもと町会館など市内の各所で人形劇を行うイベント。同日開催のイベントが中止になったため、中止となった。今後も地域と協力して実施したい事業である。			
2-1	三館合同事業 岸和田風物百選展覧会	カ - ア	4	14～17	木～日	10:00	マドカホール	228		○	○	○	○	岸和田市市制施行100周年の記念事業の先駆けとして、市制施行60周年に制作され、岸和田市に寄贈された美術作品の展示会を行い、40年前の岸和田市内の風景や建築物を通して、懐かしさを感じていただき、次世代に伝え発信する良い機会の事業となりました。	A	A	A
3	大衆演劇 劇団「華」	ア - ウ	4	21	木	12:30	小	151					○	コロナ感染対策を取りながらの実施となった。浪切ホール定番演目のひとつとなっている大衆演劇である。大衆演劇のエンターテインメント性に注目し公演を実施している。大衆芸能をホールで味わうという希少性の観点からも継続して実施していきたい企画である。	B	A	B
4	【共催】よしもとお笑いライブin岸和田	ア - ウ	4	30	土	①12:00 ②16:00	大	831					○	吉本定番の新喜劇と漫才の公演。新喜劇は例年、人気座長公演と若手漫才師という組み合わせで安定した集客となっていたが、新型コロナウイルスの影響により集客、販売共に苦戦した。	A	A	B
5	【共催】サラ・オレイン	ア - イ	5	25	水	18:30	大	1,054					○	サラ・オレインは、オーストラリア出身で音が色で見える共感覚者でもある。ジャンルを問わず、幅広い活動が注目されている表現者が、今回は、世界的にも大変希有な「天性の男性ソプラノ歌手」の岡本知高をゲストに迎え奇跡の歌声を聴く貴重な公演となった。今後も続けて行きたい事業の一つとなった。	A	A	A
6	小林愛実ピアノリサイタル	ア - イ	5	29	日	14:00	大	1,378					○	第18回シヨパン国際コンクール第4位入賞し、今、世界的にも活躍が期待されている日本の若手ピアニストのリサイタル。幅広い年齢層の方の来場者がおり、注目を集めている事が図れました。ピアノの素晴らしい音色が来場者に響いた公演となり、又、実施してい事業の一つとなった。	A	A	A
7	【共催】桂米朝一門会 朝日新聞	ア - ア	6	18	土	14:00	大	1,002					○	落語は、浪切ホールにおいて安定した集客を期待できるコンテンツである。特に大ホールで実施する公演は、大御所クラスの熟達した芸を生で体験していただきたい。今後も継続して実施する事業である。	A	A	A
8-1	せんしゅう亭① ～話芸の三きょうだい～	ア - ア	6	26	日	14:00	交流	85					○	浪切ホール定番演目の落語会である。今回はその中でも人気のある演者であり、コロナ感染対策をしての実施となった。企画として定着してきており、今後も新たな若手落語家を観客に紹介できるよう企画を続けていきたい。	A	A	B
9	【中止】小学館プロデュース 演劇ワークショップ発表会	イ - ア	7	2	土	15:00	小	中止		○				小学3年～6年生の少人数を対象に、話す力と聞く力を高める4回の演劇ワークショップとその発表会を通して、コミュニケーション能力を育てることを目的で企画しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮した中で、子どもの参加者を集めることが困難となった為、中止となった。			
10	小学館プロデュース伝統芸能鑑賞会	ア - ア	7	3	土	14:00	小	96					○	難しそうな狂言をコントや漫才で楽しく学べて体験でき、子供から大人まで楽しめる狂言鑑賞入門の場となった。古典芸能を知っていただく貴重な公演となり、今後も続けて行きたい事業となった。	A	A	A
11	【共催】中島美嘉 CONCERT TOUR 2022[i]	ア - ウ	7	16	土	17:00	大	1,020					○	コロナ感染対策をしての実施となった。人気アーティストの公演。ファン層はアーティストと同年代、またそれ以上の世代に向け、企画した事業。観客の満足度は高かったと感じております。今後も実施したい企画である。	A	A	A
12	劇団四季ミュージカル 「ロボット・イン・ザ・ガーデン」	ア - ウ	7	17	日	17:30	大	1,045					○	劇団四季ファミリーミュージカルは、良質なコンテンツとして毎回好評を得ている。今回は新作公演であり、券売および観客満足度いずれも高いものであった。今後とも続けていきたい公演である。	A	A	A
13	ナブア・グレイグwithハワイアン・フラ・ダンサーズ	ア - ウ	7	24	日	14:00	大	482					○	フラ世界大会優勝のグループによる公演。周辺地域ではフラスクールも多く、アマチュアの大会も開かれていることから盛り上がり期待し集客を狙ったが券売は軟調であった。観客からは、レベルの高い貴重な公演であったとの肯定的な感想が多かった。	B	A	C

令和4年度浪切ホール企画事業概要									0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	R4年自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者
No.	公演名	計画	公演日			開演時間	会場	入場者数									
14	【中止】港まつり(花火大会イベント)	エ - ア	7	30	土			中止					○	新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮しての中止。岸和田港まつり関連の事業として、祭りひろば を利用してイベントを計画していたが、中止となった。			
15	HIROMI GO CONCERT TOUR 2022	ア - ウ	8	6	土	17:30	大	1,415					○	毎年恒例のコンサートとなっており、今年度もコロナ感染対策を取りながらも、今年も多くの観客を集める公演となった。アンケートでも再演を望む声が多く、今後も続けていきたい公演である。	A	A	A
16	【共催】工藤静香35th Anniversary Tour 2022～感受～	ア - ウ	8	7	日	17:00	大	1,416					○	コロナ感染対策を徹底し実施した、人気アーティストのコンサート。知名度もあり、安定した集客が出来ました。今後も多くの観客に来ていただけるアーティストのコンサートを企画し来場者満足度を向上させたいと考えている。	A	A	A
17	なみきりdeつくろう	イ - ア	8	8～9	月～火	10:00 他	多目	85		○			○	夏休み恒例企画として、小学生が夏休みの自由工作を作る場となっており、今年度も新たなテーマを考えて好評を得ている参加型の企画として、今後も実施したい。企画内容によって参加人数が多い少ないがあったので、次年度以降検討し多くの小学生が参加していただける事業にしたいです。	A	A	B
18	塩田千春アーティストトーク	ア - エ	8	11	木	14:00	交流	131					○	岸和田出身の塩田氏に制作依頼し、作品解説等の講演。アンケートを見ると作品を見て心を動かされたとの感想も多く、兎角難解と敬遠されがちな現代アートの敷居を下げられたのではないかと考えている。	A	A	A
19	【共催】こども演劇祭	ウ - ア	8	17～21	水～日	10:00 他	小交流 他	-	○	○	○	○	○	実行委員会形式の運営で、これまで実績のある催事である。子供向け事業を支援してきた側面もあり、継続していきたい事業である。運営面や催事内容を変更したり、継続事業としてより良い方向を模索していきたい。	A	A	-
20	Cutting Edge KYOGEN 2022真夏の狂言大作戦	ア - ア	8	20	土	14:00	大	641					○	コロナ感染対策をしての実施となり、400年以上の歴史を誇る京都・茂山千五郎家による最先端な狂言。刺激的・新感覚の舞台で日頃あまり見ない方へも新しい古典芸能を通じて市況減に対して親しみがわく公演となった。古典芸能の発信するうえでも今後も続けて行きたい事業となった。	B	A	B
21	【中止】城下町フェア	エ - ア	8	20～21	土～日			中止					○	商工会議所と協力しながら市内外からくる観光客へ、岸和田市の文化・観光・物産を紹介する事業ですが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮しての中止となった。岸和田市の魅力発信をするうえで、次年度以降はどのように取り組むのかを検討が必要と考えます。			
22	日生劇場ファミリーフェスティバル2022「リトル・ゾンビガール」	ア - ウ	10	10	月	14:00	大	973					○	コロナ感染ウイルスの感染拡大の影響で開催も危ぶまれたが、日生劇場の協力もあり開催することが出来ました。世代を超えて愛される名曲とともにみんなで楽しめるオリジナル・ミュージカル。内容も観客を十分に満足させる公演であった。	B	A	B
23	大井健 ピアノコンサート	ア - イ	10	22	土	15:00	小	103					○	小ホールでのクラシック系コンサートであり、より身近に演者を感じることができる良質な公演が魅力だが、コロナウイルス感染状況等の影響もありチケット販売には苦戦した。クラシックの小品を生演奏で聴いてもらえる同様の企画を今後も続けていきたい。	A	A	B
24	Novelbright LIVE tour 2022 Hope Assort tour 追加公演	ア - ウ	10	23	日	17:00	大	1,482					○	人気アーティストのツアー公演。若い方に大人気なグループの公演で、会場は盛り上がりみせた。観客は、岸和田に限らず広域からの集客となり、浪切ホールの知名度を上げることもできた。	A	A	A
25	ベーゼンドルファーを弾こう！	イ - ア	11	4～6	金～日	10:00 他	大	39組					○	世界三大ピアノの一つでもある「ベーゼンドルファー」を大ホールの舞台で最高の音を奏でる場の提供事業。舞台での演奏機会が無い方や日頃ピアノに携わっている人が、自分の世界で貴重なピアノを演奏ができる貴重な時間となり、参加者の評価も高く毎年実施したい企画である。	A	A	A
26	大衆演劇「姫 千乃丞」	ア - ウ	11	18	金	12:30	小	123					○	浪切ホール定番演目のひとつとなっている大衆演劇である。大衆演劇のエンターテインメント性に注目し公演を実施している。大衆芸能をホールで味わうという希少性の観点からも継続して実施していきたい企画である。	B	A	B

令和4年度浪切ホール企画事業概要									0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	R4年自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者	
No.	公演名	計画	公演日			開演時間	会場	入場者数										
8-2	せんしゅう亭② ～桂かい枝の会～	ア - ア	11	19	土	14:00	交流	134					○	浪切ホール定番演目の落語会である。今回はその中でも人気のある演者であり、コロナ感染対策をしての実施となった。企画として定着してきており、今後も新たな若手落語家を観客に紹介できるよう企画を続けていきたい。	A	A	A	A
27	クリスマスイルミネーション	エ - ウ	12	1～25	木～日	17:00～21:00	祭り	-	○	○	○	○	○	今年度は、祭りの広場の柱16本にLEDによるライトアップを実施した。プログラムによる色を変えたりスピードを変化させたり落ち着いた光の波が表現でき、来場者の皆様にも好評の中、終了することが出来ました。来年以降もイルミネーションを含めた企画ができればと考えております。	A	A	A	A
28	【共催】MOA美術館 岸和田・忠岡児童作品展	オ - イ	12	2～4	金～日	10:00	多目	-	○	○			○	岸和田・忠岡児童による作品展。子どもたちが自然環境、社会、他者との関わりを通して、感性を働かせながら絵画や書写によって表現することで情操を養い、豊かな心を育てることを目的とする企画として今後も継続して実施したい企画である。	A	A	A	A
29	柳家喬太郎 独演会	ア - ア	12	18	日	14:00	大	549					○	今回で4回目の公演となり、定番となりつつある中で、コロナ感染対策をしての開催ではあったが、集客、販売共に少し良い方向に戻ってきた。アンケートでも、継続を求められる声もあり、今後も継続したい企画である。	A	A	A	A
2-2	三館合同事業 令和岸和田風物百選 ～伝え継ぐ岸和田～	カ - ア	12	23～25	金～日	10:00	マドカホール	352		○	○	○	○	岸和田市市制施行100周年の記念事業。美術作品を通じて岸和田市内の風景や建築物を次世代伝え発信する為にも、今後も実施したい事業の一つとなりました。	A	A	A	A
30	【共催】新春！よしもとお笑いライブ in岸和田	ア - ウ	1	8	日	①14:30 ②17:30	大	876					○	吉本定番の新喜劇と漫才の公演。新喜劇は例年、人気座長公演と若手漫才師という組み合わせで安定した集客となっていたが、新型コロナウイルスの影響により集客、販売共に苦戦した。	A	A	A	A
31	ミライダンス '23 「アカネクラブ」	ア - ウ	1	15	日	17:30	大	665		○			○	岸和田市出身であり、日本を代表する振付師akaneが、高校生のスペシャルダンスイベントをプロデュースし、当日はMCとしても参加して、高校生の熱いダンスを盛り上げて頂いた。ダンスが好きなお客様が定着し、さらに増えていくように、今後もダンス企画も調整していきたい。	B	A	B	B
32	島津亜矢コンサートツアー2022	ア - ウ	1	21	土	①13:00 ②17:00	大	2,162					○	ジャンルレスの歌唱力から、歌怪物と称されて活躍する島津亜矢さんによる昼と夜の2部制コンサートで、集客が弱い状況となりがちの夜の部でも、約1,000人近くの集客がありました。今後も定期的にコンサートを開催していきたい。	A	A	A	A
33	笑福亭たま 岸和田独演会	ア - ア	1	28	土	14:00	小	246					○	大阪府貝塚市出身であり、長年せんしゅう亭の人気主任を務めて頂いてきて、今回は初の独演会を開催し、十分にお客様を楽しませてもらいました。今後も他の落語家の独演会と調整しながら、小ホールの定番になってもらいたい。	A	A	A	A
34	小学館プロデュース 劇団青い鳥 ネバーランド～ぼくらの宝を守りぬけ～	ア - ア	2	4	土	14:00	小	58	○	○			○	子ども達に楽しんでもらう企画として実施した。親子で演劇を観てもらうことで、今後のいろいろな公演に興味を持ってもらう良い機会となる点では、重要であると考え。集客方法を検討しながら、今後も同様の企画を調整していきたい。	C	A	C	C
8-3	せんしゅう亭③ ～桂春蝶の会～	ア - ア	2	25	土	14:00	交流	136					○	浪切ホール定番演目の落語会である。今回はその中でも人気のある演者であり、コロナ感染対策をしての実施となった。企画として定着してきており、今後も新たな若手落語家を観客に紹介できるよう企画を続けていきたい。	A	A	A	A
35	DRUM TAO 2023 「KAIKI」	ア - エ	2	26	日	16:00	大	985					○	TAOは、一度公演を観たお客様が再度他館での公演を観に行かれたり、次回公演も楽しみにされたりするという良い循環を実現している。公演のエンターテインメント性も高く、これからも継続したい企画である。	A	A	A	A
36	浪切合唱団演奏会	エ - イ	3	4	土	14:00	小	208					○	普段の練習の成果を、家族や友人、知人などの前で発表することができ、指導者や団員達も達成感を感じていました。また、合唱団のアピールも行え、少し問い合わせも入ってきている。団員と相談しつつ、定期演奏会が行えるようにしたい。	A	A	A	A

令和4年度浪切ホール企画事業概要									0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	R4年自己評価		来場者満足度	入場率	事業実施者
No.	公演名	計画	公演日			開演時間	会場	入場者数										
37	【共催】岸和田ライオンズクラブデー高校生ダンスコンテスト	イ - ア	3	5	日	13:00	大	-					○	コロナの影響を心配しながら、今回は観客数を調整し、少し規模を戻しての実施となった。部を引退した生徒や後輩達が打ち合せから参加し、司会進行や審査員、裏方となり、ダンス参加者といっしょに盛り上げてくれた。今後も学生達の活躍に期待して、継続したい。	A	A	A	A
38	小学館プロジェウスキャラクターもの展示会・イベント「35周年記念 かいけつゾロリ大冒険展」	ウ - ア	3	6～19	土～日	10:00	多目	307	○	○			○	小学生以上の子どもから大人までの皆様に展覧会を通して、おもしろさや懐かしさを感じてもらい、親子や友達といっしょに楽しんでもらう企画として実施した。今後、展覧会を実施する際は、内容を考慮して実施時期も検討する必要がある。	C	A	C	C
39	森山直太郎20thアニバーサリーツアー「素晴らしい世界」(後編)2023	ア - ウ	3	12	日	17:30	大	1,421					○	卒業式の定番ソングとなる「さくら」など、多くのヒット曲を生み出しており、感情あふれる歌声で、来館された方を魅了された。今後も浪切でコンサートを実施してもらいたいアーティストである。	A	A	A	A
40	なみきり合唱団育成事業	オ - ア		毎週月曜日 (月/3回)		18:30	練1	-					○	現在、約20名ほどの団員が演奏会などを目標に練習を行っており、特に男性が少ない状況である。今後もみんなで協力し合いながら、団員獲得に努めつつ、文化や芸術に触れるきっかけとなるように継続していきたい。	B	A	B	B

■ 自泉会館					0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者	
イ 市民が財産として認識できる施設の周知に努めます					3 事業									
施設の見学希望者に対し、建物の意匠・様式や歴史的背景を説明し、あわせて城周辺施設の紹介を行う。					通年	471 名				○	A	—	—	A
ロビー映像コンサート(自主)					毎月、1映像ホール使用の無い日の10時～16時					○	A	—	—	A
1 つだけのロビー作品展(自主)					毎月、開館時					○	A	—	—	A

■ 自泉会館				0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・ 高齢 者	その他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者	
イ 市民が財産として認識できる施設の周知に努めます ク 地域の魅力づくりに努めます										1 事業			
岸和田城下町ひなめぐり(協力)				令和5年 2月17日(金) ～3月5日(日)					○ お雛様を通して城下町を散策し、自泉会館を知ってもらえた事業です。 この時期の来館者は毎年少ないですが、城下町にたくさんの方が来られ、各館のことも知っていただけたことと思います。 主催：岸和田市観光振興協会 協力：岸和田城下町サミット実行委員会 雛飾り設置場所 岸和田城・岸和田だんじり会館 観光交流センター・自泉会館 まちづくりの館・岸和田市五風荘 岸城神社・杉江能楽堂	S	—	—	S
ウ クラシック音楽を学んでいるアマチュアの発表の場の提供に努めます										8 事業			
第66回自泉フレッシュコンサート ～春の風に誘われて～（自主） 定員40名				令和4年 4月16日(土)	32 名				○ 若手演奏家によるコンサート。 ※コロナの感染状況で、その都度定員を変更。 ソロコンサートをするための1歩としての演奏はもちろんではあるが、チケット販売をすることも自主公演をするために大切であることを学んでもらう機会の一つである。 お誘いの声かけを努力して行っている様子がうかがえる。 直接、協会に出演希望してきた3組によるコンサート予定でしたが、2組が前日にコロナ陽性者と分かり出演不可。1組でのコンサートとなったが、戸惑うことなく立派に演奏してくれました。	A	S	S	A

■ 自泉会館				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者
第8回自泉Re.フレッシュコンサート ～羽ばたこう ふたたび～ 定員40名								○	音楽を学びながら、また音楽を学んではいたけれど一般職や子育てを終え、再度音楽に触れることを始めた方々によるコンサート。 フレッシュコンサートのように30分の時間を演奏するのは難しい方が多いので、1組15分までとしている。今回は5組、歌が4組ありにぎやかなコンサートとなった。	S	S	A
第67回自泉フレッシュコンサート ～緑の風に誘われて（自主） 定員40名								○	若手演奏家によるコンサート。 ※コロナの感染状況で、その都度定員を変更。 ソロコンサートをするための1歩としての演奏はもちろんではあるが、チケット販売をすることも自主公演をするために大切であることを学んでもらう機会の一つである。 お誘いの声かけを努力して行っている様子がうかがえる。	S	B	A
第11回自泉ジュニアコンサート(受託) 定員150名 会場：マドカホール					○				平成23年度から実施。音楽を学んでいる小学生～高校生がオーディションを経て15名が演奏を披露する。審査員は元・現大学教授や講師等。発表会とは違う緊張感があり子どもたちの成長を感じる。 出来る限りのコロナ対策をし事業に臨む。 今年度は、自泉会館が「塩田千春展」で使用していたため、マドカホールでの開催となった。 会場が広いので、コロナ禍ではあるが、ゆったりとしてコンサートを迎えることができた。 11年続けていることで、当事業出演者がフレッシュコンサートを経て自泉アーティストバンク登録者となっている方も増えてきた。今後も大切に育てていきたい。	S	A	A

■ 自泉会館				0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・ 高齢 者	その他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者	
第68回自泉フレッシュコンサート ～秋に思いをはせて～（自主） 定員50名								○	若手演奏家によるコンサート。 ソロコンサートをするための1歩と しての演奏はもちろんではあるが、 チケット販売をすることも自主公演 をするために大切であることを学ん でもらう機会の一つである。 お誘いの声かけを努力して行ってい る様子がうかがえる。 今回は、4月出演予定でコロナ陽性 者となった2組も出演 ◆同じ時期に、ソプラノの松原みな みさんは、日本音楽コンクール声楽 部門で1位となりました。	A	S	A	S
第69回自泉フレッシュコンサート ～名曲をたずねて～（自主） 定員50名								○	若手演奏家によるコンサート。 ソロコンサートをするための1歩と しての演奏はもちろんではあるが、 チケット販売をすることも自主公演 をするために大切であることを学ん でもらう機会の一つである。 お誘いの声かけを努力して行ってい る様子がうかがえる。今回は、自泉 ジュニアコンサート（最優秀賞）を 経ての参加者有。このような演奏者 が続くことを期待する。	A	S	B	A
第6回自泉クリスマス会 あわてんぼうのクリスマスコンサート（自主） 定員50名								○	第1部は、第11回自泉ジュニアコン サート出演者の中から選ばれた優秀 な方たちの演奏を披露。 第2部は、フレッシュコンサートを 経て、自泉アーティストバンク登録 者として活動している方の演奏会。 ジュニアの方が、第2部に参加して くれることで、自分もいつかはと 思ってくれることを期待する。 8月開催のジュニアコンサート出演 時より、自信に満ち溢れた子どもた ちの演奏に触れることができた。	S	S	S	S

■ 自泉会館				0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・ 高齢 者	その 他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者	
第14回フレッシュプレミアム コンサート 未来へ～ここから～（共催・自主） 定員200名								○	若手演奏家によるコンサート。 令和3・4年度自泉フレッシュコン サート出演者より選出された方々に よる演奏。出演者の中から最優秀賞 1名・優秀賞2名を選出。一番最初に 自泉フレッシュコンサートに参加さ れた方は2年弱の期間がありました が、その間に研磨してこられた様子 がうかがえるコンサートとなりました。 最優秀賞者には副賞として自泉会館 でリサイタルをしていただきます。 最優秀賞：大槻 夏子 ピアノ 優秀賞：佐々木 真衣 ソプラノ 優秀賞：蘭サクソフォンカルテット	A	S	C	A
エ さまざまなジャンルの音楽などのプロによる優れた舞台芸術を市民が身近に鑑賞する機会を提供します									3 事業				
弦楽四重奏 名曲アルバム ～音のカタログ～（受託） 定員40名								○	自泉会館の建物、ホールの音の響き の良さが、弦のコンサートに向いて いることは以前から感じていまし た。 昨年の事業、弦楽カルテットで、よ りその良さを感じ、今回も出演者 を変えて弦楽カルテットの演奏会を しました。 当理事のピアニストも最後の曲で 応援で入り賑やかな音楽となり、お 客様を楽しませてくれました。	S	S	S	A
時代を楽しむ音楽会 バロック編 ヨーロッパ貴族体験！ バロック時代へタイムトリップ（受託） 定員40名								○	今年度は、時代5つに分け音楽会を 楽しみました。バロック・古典・前 期ロマン・後期ロマン・近現代。 その最初となるバロック音楽です。 自泉会館と出演者のバロック時代を 思わせる衣装、チェンバロの音色。 まるで時代がタイムスリップし、バ ロック時代に誘われた事業でした。 このような素敵な音楽が流れる自泉 会館でありたいと思う。	S	S	A	A

■ 自泉会館				0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・ 高齢 者	その 他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者	
新年を寿ぐ 舞と芝居のお話（受託） 定員100名								○	コロナを吹き飛ばし、新しい年を迎えたい！と皆さん思われていたと感じます。そこで、新年を祝う事業を考えました。 新年にふさわしい舞と説明があり、また「歌舞伎のお話」と、着物を着付けてのワークショップ。 ワークショップでは、一般の方にも舞台上で動きのあれこれを体験してもらいました。 笑いもあり、素敵な新年を迎えることができました。	S	S	S	S
エ キ さまざまなジャンルの音楽などのプロによる優れた舞台芸術を市民が身近に鑑賞する機会を提供します 若手芸術家の発表や展覧会の開催を推進します													
文化の日祝典記念事業 時代を楽しむ音楽会 古典派編 ～“私たち”の音楽の幕開け～（受託） 会場：マドカホール 定員150名								○	今年度は、時代5つに分け音楽会を楽しみました。バロック・古典・前期ロマン・後期ロマン・近現代。 その2つ目、古典派。 初めての方には分かりやすくクラシックを身近に感じてもらえるよう、またクラシックが好きな方にはより楽しんでいただけるようにと、ナビゲータ中心で進める音楽会を企画しました。 文化の日祝典記念事業は、無料で誰もが参加できる事業なので、親しみやすい作曲家（ベートヴェンやモーツァルト）の演奏会としました。鑑賞された方には楽しんでいただけたようです。 出演は、岸和田市を代表する若手演奏家の原由莉子さんと、岸和田でも活躍されている声楽家で楽しく解説をする谷村悟史さんとの掛け合いでした。	A	S	B	A

■ 自泉会館	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者
時代を楽しむ音楽会 初期ロマン派編 ～4人の作曲家の頭の中を覗いてみよう！（自主） 定員50名 令和4年 12月9日(金) 16 名					○	時代を5つに分けた音楽会の3つ目、前期ロマン派。 その5つのコンサートを続けて鑑賞してもらうことを目的としました。 初めての方には分かりやすくクラシックを身近に感じてもらえるよう、またクラシックが好きな方にはより楽しんでいただけるようにと、ナビゲータ中心で進める音楽会を企画しました。 谷村綾香さん(ピアノ)は岸和田市でも活動をしている演奏者です。 ナビゲーターの内山さんは、古典派からの4回分の解説シナリオを書き、ここからの3回はナビゲーターもしました。 B	S	C	B
時代を楽しむ音楽会 後期ロマン派編 ～自由に音楽をつむぐ時代へ～（自主） 定員50名 令和5年 1月13日(金) 39 名					○	時代を5つに分けた音楽会の4つ目、後期ロマン派。 その5つのコンサートを続けて鑑賞してもらうことを目的としました。 初めての方には分かりやすくクラシックを身近に感じてもらえるよう、またクラシックが好きな方にはより楽しんでいただけるようにと、ナビゲータ中心で進める音楽会を企画しました。 「展覧会の絵」をプロジェクターで映し、それらの絵を見ながらの高木真実子さんによるピアノ演奏は、鑑賞者に興味を持ってもらえたことと思います。 ナビゲーターの内山圭介さんは、古典派からの4回分の解説シナリオを書き、前期ロマン派よりの3回はナビゲーターもしました。 S	S	S	S

■ 自泉会館	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者
時代を楽しむ音楽会 近現代編 ～西洋音楽の多様化、そして現代へ～（自主） 定員50名 令和5年 2月17日(金) 28 名						時代を5つに分けた音楽会の最後、近現代。 その5つのコンサートを続けて鑑賞してもらうことを目的としました。初めての方には分かりやすくクラシックを身近に感じてもらえるよう、またクラシックが好きな方にはより楽しんでいただけるようにと、ナビゲータ中心で進める音楽会を企画しました。 ○ 4回まで、ナビゲーターとピアノのコンサートですが、今回はピアノ以外の楽器も加え、近現代がより味わえるコンサートとなりました。 ピアノは、自泉アーティストバンク登録者の中道亜莉沙さんで他の楽器の方は中道さんの仲間です。ナビゲーターの内山圭介さんは、古典派からの4回分の解説シナリオを書き、前期ロマン派よりの3回はナビゲーターもしました。 A	S	B	A
オ 市民のもつノウハウを活かした事業の推進に努めます						1 事業			
宇宙のお話 ～矢治健太郎さんに聞く partⅡ～ 星座盤を使ってみよう（自主） 定員30名 小学生とその保護者対象 令和4年 11月13日(日) 16 名		○			○	昨年の第2弾 夏休みの宿題ができるような事業。星のお話。 講師は、岸和田高校・東京大学卒で自然科学研究機構 核融合科学研究所所属。 ○ 昨年は、小学生に難しい内容だったので今回は小学生向けとした。星座盤を使うことを考え、暗くなる時間を設定したが、残念ながら雨となり断念した。 A	A	B	A

■ 自泉会館					自己評価		来場者 満足度	入場率	事業実 施者
オ 市民のもつノウハウを活かした事業の推進に努めます ク 地域の魅力づくりに努めます					1 事業				
岸和田文化事業協会20周年記念事業 音楽劇「桃と赤鬼」 ①子どもバージョン ②大人バージョン (自主) 定員各50名					○	脚本・演出・作曲・キャスト・演奏者など、岸和田出身・在住、岸和田にゆかりのある方で構成。岸和田ブランドといっても過言ではありません。 子どもバージョンのキャストは、一般公募し、演出家・指導者のもと稽古を重ね、当日を迎えました。 自泉会館に演劇のしっかりとした舞台ができ、かわいい子どもたちの頑張りをみることができました。 大人バージョンでは、迫力のある演技・歌に、鑑賞された方々は満足でした。 狭い空間にありながら、小編成のオーケストラはとても贅沢で、素敵でした。 当協会20周年を記念する素晴らしい音楽芸となり、当協会として胸を張れる事業でした。	S	S	S
カ 文化活動を行う市民や団体の交流の場としての活用の促進に努めます					2 事業				
第6回自泉クリスマス会 合唱ワークショップ (自主) ①初心者コース ②経験者コース 定員各20名					○	自泉会館ホールの良い音響を体験していただく、また人と文化をつなぐ事業。 コロナ禍での合唱なので感染防止に念を入れて行った。 自泉アーティストバンク登録者で若手の声楽家、大原 陽羽さんに指導者の経験をしてもらった。 声を出すことがまだ難しい時期ですが、広く間隔を取っていることで安心して声を出すことができ、気持ちよく歌うことができた。	A	S	A

■ 自泉会館				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者	
第6回自泉クリスマス会 灯り展&ワークショップ（自主） 定員：ワークショップは4回（各回10名）…40名				令和4年 ワークショップ 10月16日(日) 7名 10月30日(日) 5名 11月6日(日) 15名 11月12日(土) 4名 展示 91名 12月16日(金)～18日(日)					市制施行100周年記念事業「竹灯り」を視野に入れ、事業協会でも灯りの事業を考えました。 4回のワークショップで作品作りをし、その作品を中心に灯り関係の作品を展示しました。作品をより楽しんでいただけるように、展示室を竹で飾りました。 落ち着いた雰囲気に来場された方は、ひとときの癒しを感じていただけました。	S	S	S	A
キ 若手芸術家の発表や展覧会の開催を推進します									1 事業				
松元悠 速筆画実演と展示（自主） 会場：速筆画実演 自泉会館ホール 展示 自泉会館事務所				速筆画実演 令和4年 5月21日(土) 29名 ※参加者数は 総会出席者 人数 展示は事務所が 開いている時間					総会の様子を法廷画風に描き後、事務所に展示。 当協会の事業で現代アートの展示をした際のリトグラフ作家で法廷画家の松元悠さんに総会の様子を描いてもらいました。 いつもは写真ですが、堅苦しい総会に参加したくなる事業を盛り込みました。 ふおんて一ぬにも、写真と絵を掲載し好評でした。	S	S	S	S
ク 地域の魅力づくりに努めます									6 事業				
第10回3館合同事業 岸和田風物百選展覧会 主催：3館〈マドカホール・南海浪切ホール・自泉会館〉 会場：マドカホール展示場				令和4年 4月14日(木) 228名 ～17日(日)					岸和田市は市制施行100周年記念記念事業「令和 岸和田風物百選 ～伝え継ぐ岸和田～」に先駆けて、岸和田市市制施行60周年（昭和58年・1983年）に制作された「岸和田風物百選」より、岸和田市に寄贈された62点の作品展示。 自泉会館に預かっている絵に関しては、月1回程度でロビーに展示していましたが、一度に見ることができ、懐かしく思われ鑑賞している方々もいました。	S	S	S	S

■ 自泉会館	0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・ 高齢 者	その 他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者	
市制施行100周年記念事業 「佐佐木勇蔵コレクション 『短冊に見る日本人の美意識』」 会場：自泉会館展示室					○	岸和田市市制施行100周年を、協会として記念し事業としました。 岸和田市に貢献された、故佐佐木勇蔵氏が蒐集した短冊25,000葉（岸和田市に寄贈）の中から61葉の短冊の展示を郷土文化課の協力により行いました。 市民の皆さんの財産でもあるこれらを見ていただく機会が持てて良かったと思います。 また、実際に書いてみる体験として、ワークショップも行いました。 講師は、会員の田中幸子さんと齊藤憲子(会長)	S	S	S	S
ストリートピアノin自泉会館					○	市制施行100周年記念事業「竹灯り」の時期に合わせ、城下町を盛り上げる事業として、自泉会館のピアノに触っていただく事業をしました。 誰でも触れるので、年齢も様々で、県を跨いで来られる方もいました。 遠方から来られた方は、この自泉会館ホールで演奏してみたいと思い来られたようです。 次回はいつですかと聞かれるほど皆さん満足して帰られました。	S	S	S	S
岸和田現風景 景観地区を歩く 春木中学～春木三昧（自主） 定員15名					○	交流と岸和田の街を楽しむ事業。 今回は春木。会長が勉強し案内人としての事業 普段通り過ぎてしまう地元を歩くことで、新しい発見がありました。	B	A	C	B

■ 自泉会館				0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・ 高齢 者	その 他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者	
第10回3館合同事業 令和 岸和田風物百選～伝え継ぐ岸和田～ 主催：3館〈マドカホール・南海浪切ホール・自泉会館〉 会場：マドカホール ホール・展示場 ・								○	岸和田市市制施行100周年を記念した事業。 今だからこそ残しておきたい建築物、次代へ伝えていきたい風景等の作品を、岸和田にゆかりのある小学生以上の皆様に100点の絵画等の作品を公募。それらを展示しました。今回は作品をすべて本人にお返しし、CD等に作品を映像保存しました。 市長より直接感謝状もお渡しでき、描かれた方々は満足していただけたことともいます。	S	S	S	S
わくわくコンサート ～フルート&ピアノで春いっぱい！～（自主） 定員20組（対象年齢の子どもと保護者）								○	昨年は0歳から18か月までの子どもと保護者が参加しましたが、今年度は幼児とその保護者を対象としました。 対象年齢の子どもたちばかりなので、動き回ることを良しとしたコンサートでした。ほかの方に気兼ねすることもなく、保護者も安心して参加できたようです。 いつも頑張っている保護者のための演奏もあり、大人も子どもも楽しむことができました。	S	S	S	S

■文化会館(マドカホール)

■文化会館(マドカホール)				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者	
ア 子どもたちや親子を中心とした音楽や演劇、ダンスなどさまざまな形での体験機会や鑑賞機会の提供に努めます。										2事業			
アートマルシェの開催(第9回子どものためのアートマルシェ)	8月	参加者	141 名	○	○		○	○	依然コロナ禍で、まったく制限なしにはできず集客も難しかったが、年々定着してきており、リピーターも多い。チラシにQRコードを取り入れるなどして周知方法も工夫した。今後も広報に力を入れて、新規参加者を増やしていきたい。感染症対策をとり、無事に終えることができた。	B	A	B	B
アウトリーチ事業	12月	参加者	60 名	○					コロナ禍で、人との交流が少なくなり、子供たちの成長への影響を心配していた保育現場に非常に喜ばれた。感染症対策も考慮した企画で事業展開でき、子ども達の楽しそうな顔が見られたのは良かった。	A	A	—	A
イ 育成団体である「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」「マドカドラマスクール」の活動を支援し、輪を広げる事業展開に努めます。										2事業			
育成団体「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」 「マドカドラマスクール」指導者謝礼の支出	通年	指導者数	7 名		○			○	少しずつ通常の活動に戻ってきた。団体のレベルを維持していくため、今後も連携を密にしていき、支援を続けていきたい。	A	—	—	A
「岸和田市少年少女合唱団」定期公演の開催 「岸和田市音楽団」定期公演の開催 「マドカドラマスクール」定期公演の開催	1/8(日) 11/27(日) 5/29(日)	入場者数	260 273 名 585		○			○	育成団体の活動を発表する場を支援。各団体と連携しながら今後も継続する。	A	A	A	A
ウ 公募展である市展や地域で活動する市民や団体が参加するマドカ合唱祭の充実・発展に努めます。										2事業			
第73回岸和田市市展／受賞作品展の開催	5月～7月	入場者数 出品者数	2,178 名 290 名					○	出品者の高齢化は切実だが、若い世代の出品を広げるべく、募集要領の配布先を泉州地区を重点においた。	B	B	B	B
第35回マドカ合唱祭の開催	11月	入場者数	310 名						事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら内容を決めている。委員、また参加団体の意欲を高めていくため、仕組みづくりの強化が必要。	B	B	B	B
	7/31(日)	入場者数	346 名		○			○		B	B	B	B

■文化会館(マドカホール)

■文化会館(マドカホール)					0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者	
エ 市民文化活動の場としての文化祭について、実行委員会の活動を支援し、事業の充実・発展に努めます。										3事業				
第74回岸和田市文化祭の開催	9月～11月	入場者数	17,551	名	○	○		○	○	昭和23年から続いている文化祭は、市民の文化活動の成果を発表する場として定着している。	A	B	B	A
文化振興功労者表彰式	11/3(木)	入場者数	343	名					○	文化、教育、スポーツ等の功労に対する表彰式典。	A	S	A	S
文化の日祝典記念事業	11/3(木)	入場者数	130	名					○	泉州にゆかりのあるピアニストの演奏を中心にナビゲーターが曲を解説する音楽会を実施し、多くの市民に楽しんでいただくことができた。	A	S	A	S
オ 障害者・児のための作品展の開催を支援します。										0事業				
カ 市内小中学校の音楽会や鑑賞事業、市内中学校におけるクラブ活動発表会などの子どもたちの文化事業の実施を支援します。										2事業				
芸術鑑賞事業の実施	通年		0	校		○				例年、利用校が1団体と少なかったが、コロナの影響もあり利用がなかった。	C	-	-	C
チャレンジ支援事業	通年		5 2	件 校		○				本番に近い環境を整え、提供できた。来年度は周知方法を追加・工夫し利用団体参加をより促していきたい。	A	A	A	A

■文化会館(マドカホール)

■文化会館(マドカホール)					0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者	
キ 庁内のさまざまな施策と連携し、文化活動を通じた子どもたちの健全育成や地域の魅力づくりに努めます。											1事業			
塩田千春展 Home to Home 家から家	8月～9月	入場者数	2,662 名						○	岸和田市市制施行100周年記念事業として実施。展覧会の作品制作にあたって、本市ゆかりの若手アーティストや、市立中学校・高校の美術講師に参加してもらうなど、貴重な体験を提供した。また、展覧会の運営スタッフを市民から募集し、案内から誘導、簡単な説明などに携わってもらった。日本を代表する現代アート作家の一人である塩田氏とコラボすることにより、来場者から作品とともに建物も素晴らしいとの高評価を得ることができ、自泉会館の周知、魅力発信にもつながった。	A	A	-	A
ク 市民や文化団体等の主体的な芸術文化活動の支援、育成に努めます。											2事業			
自泉会館指定管理者(岸和田文化事業協会)への事業委託(4件)	通年	入場者数	266 名					○	○	自泉会館の活用促進事業として4事業を実施。企画を尊重しつつ、連携しながら支援していく。	A	A	A	A
共催事業の実施(4件)	通年	入場者数	1,196 名						○	マドカホールを会場とした事業に対し、会場負担の支援。	A	A	A	A
ケ ワークショップや講座の開催など文化活動の普及に努めます。											2事業			
アートマルシェの開催(第13回アートマルシェ)	3月	参加者	107 名		○	○		○	○	依然コロナ禍で、まったく制限なしにはできず集客も難しかったが、年々定着してきており、リピーターも多い。チラシにQRコードを取り入れるなどして周知方法も工夫した。今後も広報に力を入れて、新規参加者を増やしていきたい。感染症対策をとり、無事に終えることができた。	B	B	B	B

■文化会館(マドカホール)

				0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・高 齢者	その 他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者
コ 3館合同事業による市民参加や体験の機会を創出します。				2事業								
3館合同事業 岸和田風物百選展覧会	4月	入場者数	228 名		○	○	○	○	岸和田市市制施行100周年 記念事業の先駆けとして、市 制施行60周年に制作された 「岸和田風物百選」より市に寄 贈された62点の作品の展示会 を実施。当時を知る人には懐 かしさを、また、若い世代には その頃の様子を知ってもらう良 い機会となった。	A	A	A
3館合同事業 令和 岸和田風物百選 ～伝え継ぐ岸和田～	12月	入場者数	352 名		○	○	○	○	岸和田市市制施行100周年 事業として実施。今だからこそ 残しておきたい建築物、次代へ 伝えていきたい風景等の作品 (100点)を、岸和田にゆかりの ある人(小学生以上)から公 募。市長より直接感謝状も渡 す等参加者の満足度も高かつ た。	A	A	A
サ 国際交流を通じた青少年の異文化交流や異文化理解に努めます。				1事業								
姉妹都市米国カリフォルニア州サウスサンフランシスコ 市 青少年受入事業	中止	-	名					○	令和2年度から続いて、コロナ 感染拡大に伴い事業はやむな く中止となった。今後の市の発 展にはこの青少年プログラムの 成長が欠かせない為、次年度 に期待する。	C	-	C

基本目標Ⅰ 創造する力と生きる力、感性豊かな子どもを育む

Ⅰ-1. 就学前の子どもたちが文化に触れる機会の重点的な創出

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							
4	子育て施設課	人形劇の実施	I-1			○					各所で活動している人形劇団による、保育所11園での人形劇鑑賞。演目は「おひさま劇場」から2題で、文化性の高い内容のもの。各保育所等で上演することで、子どもたちに鑑賞機会を提供する。	・行事と重ならないように実施時期の調整が必要。 ・実施劇団の選定。	就学前の子どもたちが文化に触れる機会の提供継続に努める。											人形劇団クラルテ	1,089		子どもたちに生のお話を肌で感じてもらえるよい機会である。事業の運営に関しては、庶務部会にて協議しながら協働団体と内容等を決めている。	A		○	
4	文化国際課	きしわだアートプロジェクト 就学前児童へのアウトリーチ事業	I-1	I-2		○					アウトリーチ事業として、就学前の幼児が所属する施設にアーティストを派遣し、参加体験型の演劇ワークショップを実施。演劇の表現者が、子ども達の豊かな想像力を引き出し、アートに触れる感動や喜びを体感してもらう。令和4年度は「はだかの王様と服づくり」をテーマに、感染症対策を考慮し、楽器の共有時には消毒を心掛けたワークショップ事業を実施した。幼稚園2園で2日間の開催(参加者人数:60人)	感染症の対策に慣れてきた時期に、少しずつ人と人の交流、子ども達と芸術のふれあいを増やしていくために、安全に進めるよう工夫した企画が必要。	就学前児童の豊かな発想を伸ばしていくプログラムを提供していく。	○	○		○								毛帽子事務所	431		コロナ禍で、人との交流が少なくなり、子供たちの成長への影響を心配していた保育現場に非常に喜ばれた。感染症対策も考慮した企画で事業展開でき、子ども達の楽しそうな顔が見られたのは良かった。	A		○
4	図書館	読書活動事業	I-1	I-3	I-4	○	○			○	4か月児を対象に、絵本や子育てに関する情報をブックスタートセットとして1,248人に配付した。市内各図書館において、お話し会107回、工作等の祝日おたのしみ会30回、科学実験教室2回等、子ども向け行事を計179回開催した。	日本語を母国語としない利用者に対して、選書を検討する。今後、関係課とも協議をしながら、図書館内のLLコーナー(やさしい日本語で書かれた本)の充実と外国語の絵本の充実及びレファレンス強化を図る。	子どもが読書に親しみきっかけとなるよう、今後もブックスタート事業、団体貸出サービス、市内小学校へのお話配達、市内各図書館におけるお話し会等及び図書館の蔵書構成等を見直し検討していく。	○	○	○	○				○			健康推進課、子育て施設課	岸和田市子ども文庫連絡会図書館ボランティア「だっこ」等	1,415		乳幼児おはなし会「だっこでおはなし会」について、本館、桜台図書館で年間定期的に開催し参加者にも好評で図書館への利用促進に繋がっている。ボランティアグループ「だっこ」では、保健センターでの「ババママ教室」において、読み聞かせの方法やおはなし会等を開催し、子を持つ親に向けての読書推進に繋がっている。	A		○

Ⅰ-2. 子どもたちに対する文化プログラムの充実

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)						
4	学校教育課	地域教育支援活動事業	I-2								平日の放課後の時間や土曜日に子どもの居場所づくりを目的に各教室が計画した特色ある様々な活動(学習活動・スポーツ活動・工作活動・園芸活動など)をボランティアである指導員が中心となり実施した。	ボランティアである指導員の減少に伴い、教室の維持が難しいため、指導員の確保が課題となっている。	ボランティアである指導員の確保を行い、教室の充実(実施内容・数)を図っていく。	○					○		○				てんてん天神山子ども教室、城北公民館スクール、八木っ子クラブ、修斉放課後子ども教室、わくわく教室山北、みんなの居場所にここに光明	952		事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら問題点や改善点を共有している。コロナ禍による活動制限がある中、コロナ感染の対策をとりながら実施できる方法を模索中	B		○
4	生涯学習課	子どもの居場所教室	I-2								子どもたちが余暇に、文化活動を通じて、仲間づくりと併せて友情を育み、豊かな心を養うことを目的とした。 市立公民館で、長期の休み以外の毎週土曜日に2時間程度開講。ジュニアオーケストラ(40回)、陶芸(34回)、剣道(39回)実施。	特になし	子ども一人ひとりに感受性や社会性が身についていると感じられるような教室を目指す。	○	○	○				○					剣道は心技会へ委託	1,128		学校外で継続的に取り組める文化活動の機会として重要である。また、異年齢交流の中で、人への思いやりやコミュニケーション力が培われている。	A		○
4	生涯学習課	公民館親子文庫事業	I-2	I-3			○	○		○	読書を通し市民同士がふれあいを深める場とするとともに公民館活動の振興、充実を図るため、図書の貸し出し、整理、読書指導、おはなし会、・お楽しみ会等を行っている。光陽おやこ文庫(20回158人)、城北おやこ文庫いずみの会(42回294人)、光明とんぼ文庫(46回850人)、新条文庫なかよし(49回796人)に委託し実施している。	・参加者の減少 ・後継者不足 ・周知不足 ・本の選定	実施場所である公民館、近隣の小学校、保育園、保育所と連携を取りながら、文庫活動の活性化を図る。地域にも周知をはかり、利用しやすい環境を作る。	○					○			○			各文庫に委託	210		31年度から年1回の交流会を文庫活動のある地区館で開催。直接他の文庫の様子を見ていただく良い機会となっている。令和4年度についてはイベントの実施等により利用者が増えている。また、小学校と連携しお話し会をすることによって、文庫活動の周知を図っている。	A		○
4	図書館	自動車文庫事業	I-2	I-3			○	○	○	○	図書館から距離のある地域に10ステーションを設け、移動図書館車で出向き、資料の貸出し、返却等の業務を行っている。また、蔵書の限られたチビッコホーム42か所、幼稚園13か所・保育所等12か所には年3回配本を行い、その充実を図っている。	ステーションの中には利用の少ないところがある。移動図書館車両の老朽化。	自動車文庫事業の維持や継続も含め、今後の自動車文庫のあり方を検討する必要がある。	○					○			○			17,209		令和5年度中に、自動車文庫(なかよし号)の今後のあり方について、図書館へ来館が困難な人へのサービスや子どもへの読書推進に繋がるサービスを関係課や学校等へ調査を行い、方向性を見極める。	A		○	

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続			
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報しわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)								他団体(団体名等)		
4	桜台市民センター	学級講座等運営事業	I-2	II-1	II-7	○	○	○	○	○	市民相互の結びつきと自主的な活動を支援するため、定期(6講座)、短期(7講座)、家庭教育学級(2学級)、女性学級及び高齢者大学を開設・運営した。また、公民館開館日に空き講座室を利用して自習室を開放した。	魅力ある学級講座運営	自主的な学習活動の支援継続、魅力ある学級講座の運営、現代的課題の解決につながる事業運営	○	○	○	○		○			○	地元町会及び自治会回覧板	生涯学習課	公民館活動団体	893		自主的な学習活動の意欲を高めていくための支援や、魅力ある学級講座等の開催を計画実施した。また、公民館活動団体と協働し、「公民館まつり」を開催することで自主運営・文化活動の充実につながった。	A		○			
4	春木市民センター	学級講座等運営事業(学級・講座)	I-2	II-1	II-7	○	○			○	市主催の定期講座・単発講座(親子対象講座、岸和田鳥さんぼ、バレンタインコンサート等)・女性学級を開催し生涯学習の機会と場を提供している。	限られた予算で、より多くの世代や市民に公民館を利用してもらうための事業を検討する。	講座内容については、利用者のニーズに添った企画を検討するとともに、地域の特性を活かした事業を展開する。	○	○	○	○		○		○				1,153		各種講座については、コロナ禍の影響を考慮しつつ、利用者層の拡大につながる工夫や取り組みが必要と思われる。	B		○				
4	春木市民センター	学級講座等運営事業(公民館まつり)	I-2	II-1	II-7	○	○			○	令和4年度は、公民館分館まつりを、クラブ員による実行委員会形式で3年ぶりに開催した。日常のクラブ活動において、クラブ員の自主性や参画意識を高め、地域住民へは、公民館活動の理解を深めることによって、地域における文化交流、仲間づくりをすることができた。	①実行委員会が運営する力を高める②参加者(各クラブ)の自主的な参画意欲を高める	令和5年度も昨年度に引き続き、実行委員会形式で実施予定である。今後、実行委員会の企画力・運営力を高め、行政主導から市民主導へとシフトしていくことで、各クラブ活動の本旨である自主運営・文化活動の充実・発展、地域コミュニティの醸成につなげる。	○	○	○	○		○		○				48		公民館まつりの開催は前回に引き続き、実行委員会形式にて取り組む予定であった。今後、コロナ禍でも実施できる方法を検討するとともに、参加者の意識を高め、実行委員会の組織体制(しくみづくり)を定着させていくことで、事業実施の安定を図る。	B		○				
4	文化国際課	アートマルシェ	I-2	II-6	IV-1	○	○		○	○	市民が文化芸術にふれるきっかけづくりを目的としたワークショップ。8月と3月に開催。8月は子ども向け、3月は大人向けといったように、毎回講座内容を変えて実施。(参加者8月141名、3月107名)	講座によって申込み状況にばらつきあり。コロナ禍でも安心して参加できて、バラエティーに富んだ講座の充実。乳児・障害児も参加しやすい講座の設定。	文化芸術に触れるきっかけとする事業で、多様なプログラムの充実を図っていく。マンネリ化を防ぐため新たな分野のワークショップを開拓したい。また、プロの芸術を間近に触れる機会も作りたい。	○			○		○		○		育成団体、当館を利用している教室、他		2		依然コロナ禍で、まったく制限なしにはできず集客も難しかったが、年々定着してきており、リピーターも多い。チラシにQRコードを取り入れるなどして周知方法も工夫した。今後も広報に力を入れて、新規参加者を増やしていきたい。感染症対策をとり、無事に終わることができた。	B		○				
4	生涯学習課	学級講座等運営事業(市立・大宮)	I-2	II-7			○			○	自主的なグループ活動の育成や学習課題の啓発・学習機会の提供を目的とし、定期講座及び短期講座をおこなった。市立公民館では定期講座「科学実験教室」(延べ199人)、「大人の塗り絵」(延べ78人)等、短期講座では「EARLY SPRING CONCERT」(67人)、「芸術はバクハツだっ！夏休み子ども陶芸教室」(16人)、「親子で創ろう！苔テラリウム」(48人)、「親子で作ろう！バルーンアート」(20人)、「感謝を伝えるギフトを作ろう！フラワーバルーン講座」(10人)等を実施した。また音レコサロンを実施し、延べ214人の参加があった。大宮地区公民館では定期講座として「おりがみdeコミュニケーション」(延べ82人)、「子ども書道」(延べ260人)、「初心者ウクレレ」(延べ115人)等を実施した。	・来館しづらい世代への講座・講座の周知方法の検討(SNSによる情報発信)	各世代に応じた講座を企画し、公民館活動への参加を促す。また市民自らが学習する機会を提供する。	○			○	○		○	○		○						2,151		中高生などの来館しづらい世代への講座を企画・実施した。また、親子対象講座やコンサートなど多くの方に来館いただけるような講座を実施した。	A		○

I-3. 小中学校などの学校教育機関における文化事業の推進・充実

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)						
4	学校教育課	読書活動事業	I-3				○				小中学校における読書活動をさらに推進し、児童生徒の読書意欲、読書週間を形成することや、読書活動の企画や立案、読書活動への支援や相談、学習に関する資料の提供、提案を行う学校司書の派遣。(小学校週2回、中学校週1回)	派遣された学校司書と学校の図書館担当をうまくつなげ、子どもの読書推進をいかに充実させていくかが課題。	中学校を週1回の派遣から増やして充実させていきたい。また、図書館業務を円滑に進め、活用状況を把握・分析できるシステムの導入を検討したい。					○								19,219		子どもへの読書活動の推進のため、充実に努めているが、人材の確保が難しいことや限られた予算の中で読書推進の工夫を行っていく必要がある。	A		○
4	学校教育課	幼・小・中学校所属児童作品展示	I-3				○	○			市立幼稚園、小学校、中学校、高校に所属している児童・生徒の作品等を、市役所の廊下にQRコードと合わせて掲示。HPにも掲載している。	掲示場所が旧館の階段にあるため、目立ちにくい	保護者を含む市民の方々に広く知っていただけるための活動の推進(庁内電光掲示板へのメッセージ添付)	○	○	○				○			広報広聴課					掲示作品を保護者・祖父母等が観に来てくれる機会が増加している。	A		○
4	選挙管理委員会	選挙常時啓発事業・啓発ポスター募集	I-3				○				岸和田市内の小・中学校及び産業高校に対し、明るい選挙啓発ポスターの作品募集を行い、応募作品については市HPに掲載した。 【浜小学校28点、久米田中学校20点、桜台中学校4点、土生中学校4点】	岸和田市内の各学校に依頼をしているが、参加する学校に偏りがある。	今後も継続して事業を行い、明るい選挙に向けた啓発を進める。	○	○	○				○	○	○		公益財団法人 明るい選挙推進協会 都道府県選挙管理委員会連合会 大阪府選挙管理委員会		58		毎年多数の応募があり、明るい選挙について推し進めることができる。	A		○
4	人権教育課	人権教育・人権啓発事業	I-3				○			○	人権を守る作品展、巡回人権を守る児童・生徒作品展、いじめ問題啓発児童・生徒作品展	子どもたちの人権意識の育成を図る	子どもたちの人権意識の育成を図るとともに、児童・生徒等によるポスターや標語を展示する「人権を守る作品展」などによる啓発を充実させます。	○	○	○				○		○	人権・男女共同参画課	岸和田人権協会		580		1,000人以上の市民が、児童生徒の作品や人権の取組に関するパネルやポスター等を鑑賞。参加者から児童生徒の作品について大変好評を得ている。	S		○

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価				自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)									
4	産業高校デザイン科	岸和田市産業教育フェア(デザインシステム科卒業制作展)	I-3				○				岸和田市立産業高等学校全学科の取組みを紹介するとともに、令和4年度卒業のデザインシステム科生徒による卒業制作作品展示及び舞台発表(ファッションショー)を実施。3年間の学びの集大成としてクラス統一テーマを掲げて作品制作を行い、企画・広報・運営など生徒主体で取り組んだ。在籍生徒、家族をはじめ、広く社会に向けて鑑賞の場として提供している。	感染症予防のため、舞台発表は予約制の座席指定、規制入退場をお願いした。感染症が落ち着いたこともあり、大きな混乱は見られなかった。	生徒の意欲や作品の精度は年々向上している。令和4年度は学校関係者以外にも多くご来場頂いた。生徒が3年間で身に付けたデザインに関する知識や技術を表現する集大成の場として威厳ある作品展にしたい。	○	○	○			○	○		○							企画・広報・運営全てを生徒主体で行っている。感染症が落ち着いた時期の実施であったこともあり、多くの方にご来場頂き、作品展示・舞台発表ともに高評価を頂戴した。		S		○
4	学校教育課	児童生徒育成支援事業	I-3				○				本市の未来を担う児童生徒が、本市の歴史や未来に思いを馳せながら絵画作品の作成に取り組み、優秀作品について、市立文化会館での展示を行った。	令和4年度のみ実施	令和4年度のみ実施	○	○	○			○				企画課		1,030		市制施行100周年を機に、子どもたちが作品を創造する機会、展示発表する機会を設けることができた。		A		○		
4	人権教育課	泉支研 学習発表会	I-3	II-2			○		○	○	各小中学校の支援学級在籍の児童生徒が、普段の学習の成果を発表したり、個々に応じた目標の達成を図ったりする。	各校の担当教員同士の綿密な打ち合わせや引継ぎ	児童生徒の日々の学習発表の場として、今後も継続して実施していきます。	○	○	○			○			○		泉南地区支援教育研究会	589		コロナによる開催自粛を経て、昨年度は開催することができた。参観席に空席を設けて隣との距離を取る等の対応で、保護者の参観もできた。		S		○		

I-5. 子どもたちの文化活動への育成・支援

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続			
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)		
4	文化国際課	チャレンジ支援事業	I-5				○				小・中学校のクラブ活動団体が、コンクールに参加する場合、本番に近い環境を経験することで、日常の練習の成果が本番に活かされるようホールの使用を提供する。平成25年度より実施している。コロナ過で変更や中止になるコンクールが多かったが徐々に戻り、令和4年度利用団体数は2、利用件数は5。	事業の対象がはっきりしているため、通知文を送付し、周知に努めているが、各校の関係者にどの程度周知されているか不明。	コンクールに挑戦する団体が、この事業を活用し、本番で日頃の成果を発揮されたい。						○				○	年に一度、市内中学校に案内文を送付						本番に近い環境を整え、提供できた。来年度は周知方法を追加・工夫し利用団体参加をより促していきたい。	A		○
4	文化国際課	育成団体支援	I-5	IV-1			○			○	3つの育成団体(合唱・吹奏楽・演劇)の活動を支援し、団体の質の維持及び向上を図るため、指導者への謝礼を支払う。また、定期発表の場を設け、日常の成果を市民に還元するための公演を実施している。	団体が安定的に活動をしていくためには、一定数の団員数が必要。	各団体の活動が、当課の活動をこえて、市内の各所で展開できるべく、団体の存在や活動を広く知ってもらう。	○	○	○	○		○	○		○		岸和田市少年少女合唱団、岸和田市音楽団、マドカドラマスクール	1,440			少しずつ通常の活動に戻ってきた。団体のレベルを維持していくため、今後も連携を密にしていき、支援を続けていきたい。	A		○		

I-6. 国際交流の推進

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価			
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)						
4	文化国際課	青少年海外派遣事業	1-6				○				令和4年度は、姉妹都市である米国サウスサンフランシスコ市(SSF)からの青少年を受入れをする年であったが、コロナ感染拡大に伴い、中止を決定。	両市含め青少年が本市の魅力をいかに伝えるかをテーマに、事業を企画する際の仕組みづくり。	青少年である若い世代の切り口で、姉妹都市から来岸した青少年に本市の魅力を伝え広めていく。					○			○		学校教育課・岸和田市立産業高等学校	岸和田東ロータリークラブ		2,206	令和2年度から続いて、コロナ感染拡大に伴い事業はやむなく中止となった。今後の市の発展にはこの青少年プログラムの成長が欠かせない為、次年度に期待する。	C		○
4	産業高校学務課	高等学校教育振興事業	1-6				○				コロナ感染症終結のめども立たないため、姉妹校交流を中止。	コロナの影響で3年間中止になったため、希望していた生徒が交流できず卒業になった。	継続					○								1,188	令和6年度より交流を再開予定	C		○

基本目標Ⅱ 輪を広げる

Ⅱ-1. 発表・鑑賞機会の充実

	年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							
24	4	市民病院(経営管理課)	ギャラリーでの作品展示	Ⅱ-1			○				○	市民病院の廊下にあるギャラリースペースに就学前児童が作った美術作品を展示。就学前児童の発表の機会であるとともに、来院される方々には子どもの感性が活かされる作品を鑑賞する機会となった。	展示作品入替え時のスケジュール調整	今後も引き続き展示を続けていく。			○	○							教育委員会(各幼稚園)、子育て施設課(各保育所)				来院された方で、立ち止まって眺めている姿をよくみる。子どもも季節に応じたかわいらしい作品に多くの方が癒されているのではと考えられる。	A		○
	4	自治振興課	平和推進事業 子ども平和映画会	Ⅱ-1				○			○	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、ホール収容人数の半数の250名以下で実施。観客入れ替え時に座席の消毒が必要なことから、令和4年度は入替不要の午前1回上映とした。また、どこに誰が座っていたかを特定できるよう、指定席制とした。 また、ロビーでの混雑・滞留を防ぐため写真パネル「ミニミニ原爆展」の展示を中止した。 例年行っている熊取町女兒誘拐事件チラシとポケットティッシュの配布も中止。また、映画上映前の事件DVDの上映も新型コロナウイルス感染拡大防止の為に滞在時間なるべく短くするため中止。そのかわり、来場者に自由に啓発チラシ入りのポケットティッシュを持ち帰ってもらえるよう出口に設置した。 新型コロナウイルスに対する警戒心からか、入場者数は162名にとどまった。	近年、映画製作会社が平和や戦争に関する映画を新たに制作することがなくなってきたと聞いているため、どうしても作品が古い物となってしまう。	今後も映画を通じて、児童や保護者に平和の尊さを再認識していただく事業の一つとして継続し、平和推進を図っていく。									○				250	参加者数が今後も少子化の影響で減少すると思われる。これからも若い世代に平和推進をしていく必要がある。 令和4年度も令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し縮小しての開催となったが、可能な範囲において平和の啓発は実施できたと感じている。	A		○	
26	4	自治振興課	巡回平和パネル展	Ⅱ-1							○	市民センター5カ所と市役所新玄関の計6カ所で、「争いの無い世界を求めて～難民パネル～」と題し、パネル展を巡回した。	市民センターのロビー等に展示しているため、実際の来場者数を把握することが難しい。	市民にとって、より身近な施設で開催することで、多くの市民に鑑賞いただくとともに、非核平和への意識が高揚していく機会としていく。			○	○	○			○					18	各年度によりテーマを変えて実施している。多くの市民の皆様に鑑賞していただき、戦争の悲惨さや平和の尊さを再認識していただけたものと認識している。	A		○	
	4	自治振興課	平和推進事業 非核平和資料展	Ⅱ-1				○			○	アフガニスタンやパキスタンで支援活動を行っていた故・中村哲医師の現地活動に関する写真パネル(立命館大学平和ミュージアム、ベネチャール会から借用)、平和バスの事業報告、現物資料、戦時中の岸和田に関するパネル、小・中学生が書いた平和に関する作品等の展示を実施した。	非核平和資料展のテーマを何にするか、毎年度苦慮している。今後も「平和を考える戦争展」実行委員会メンバーの意見を集約しながら、市民の関心のあるテーマを模索していくこととする。	市民が「戦争の悲惨さ」や「核兵器の恐ろしさ」を知り、平和の尊さを認識してもらう。			○	○		○				平和を考える戦争展実行委員会	137	各年度によりテーマを変えて実施している。非核平和資料の展示のほか、オープニング式典では合唱部による合唱、朗読劇、講演会も実施し、多くの市民の皆様戦争の悲惨さや平和の尊さを再認識していただけたものと認識している。	A		○			
28	4	市民病院 医療マネジメント課	ロビーコンサートの実施	Ⅱ-1							○	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年2回開催のロビーコンサートは中止となる。	入院されている患者様が癒される催しをコロナ禍でもできるように、職員と患者のメッセージ付きのクリスマスのウォールツリーを各病棟に飾った。	社会的には、ウィズコロナにおけるイベントの再開が進んでいるが、感染リスクの高い患者さんが集うイベントの実施は困難な状況が続いている。感染対策を講じた上で、実施可能な方法も含め検討する。またコロナ禍が落ち着けば再開をする。			○	○		○						20			○			
29	4	人権・男女共同参画課	人権を守る作品展 開催事業	Ⅱ-1				○			○	12月の人権週間に向けて、「人権尊重」をテーマにした作品(ポスター、標語)を募集して、入選作品を12月に「人権を守る作品展(会場:マドカホール)」で展示するほか、1月、2月に「人権を守る作品展巡回展示(各市民センター)」で展示。マドカホールでの来場者は令和4年度は1,259名。	子どもは学校を通じて多数出品されるが、市民の作品応募が少ない。	引き続き作品展を開催することにより、人権啓発が図られる。作品応募について、市民協議会人権部会への案内を実施する。			○	○		○		○	人権協会や人権啓発企業連絡会に周知	人権教育課	岸和田市人権協会	114	作品の制作に取組んでいただき、またその作品を展示し市民の方々に見ていただくことで、様々な「人権」に触れ、大切なことに気づききっかけづくりとなっている。	A		○		
30	4	文化国際課	岸和田市市展	Ⅱ-1							○	美術に関する分野(洋画・染織・陶芸・書・日本画・写真・俳画)の公募展を行い、毎年11月に受賞作品を集めた展覧会を行っている。令和4年度は、搬出時間を指定するなどの感染対策を講じ、各部門の作品の公募、審査を行い各賞を決定したが、「作品解説」は中止した。受賞作品展は例年通りに開催した。 市展:総出品点数297点、総来館者数2,178人	感染症の影響としての出品数減少も考えられるが、高齢化に伴い出品数と来館者が減少している。特に若い世代の出品数が少ない。 将来的に部門を増やすこと、開催の組み合わせを考えなければならない。	若い世代への出品をひろげるべく、作品規格の見直しや募集要領の配布先、他の部門の創設などを考えていく。			○		○	○				市展委員会	1,960	出品者の高齢化は切実だが、若い世代の出品を広げるべく、募集要領の配布先を泉州地区を重点においた。	B		○			
31	4	文化国際課	岸和田市文化祭	Ⅱ-1				○	○		○	自主的に岸和田市民が行う文化活動の成果を発表する機会をつくり、発表者と鑑賞者相互の交流を深めることにより、文化活動に対する意識の高揚と、文化の振興を図ることを目的とする。展示部門:参加申込20団体・出品者数4,224人、舞台部門:参加申込22団体・出演者数1,510人、来場者総数17,551人	参加者が学生と高齢者で2分化されていたが、実行委員会事務局の活躍でダンス部門が定着した。引き続き新たな部門等で中間層の参加を増やすことが必要。	引き続き、教育委員会と連携して、幼児や小中学生の参加を継続していく。中間層の参加を促すために、後継者の育成が必要。			○	○	○	○		○	プログラムの町会への全戸配付	教育委員会	文化祭実行委員会、文化祭サポーター	2,100	0	昭和23年から続いている文化祭は、市民の文化活動の成果を発表する場として定着している。	A		○	

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)							
4	生涯学習課	公民館まつり事業	II-1	I-2	II-5					○	公民館を利用するクラブ員や、定期講座生・家庭教育学級生などが、普段の学習や練習の成果を発表・展示する場とするとともに、参加者同志の交流・連携を図り、公民館を広く市民に理解してもらうことを目的として地域イベントとして実施。公民館利用者の増加にもつなげたい。	公民館利用者の高齢化等の理由から、役員の担い手や登録団体の減少が課題である。	実行委員会形式で当課が事務局となり協働して開催していく。	○	○	○	○		○				○			公民館まつり実行委員会	15		市立は3年ぶりに公民館まつりを実施。各クラブ員等の日頃の学習や練習の成果の発表・展示の場となった。以前は2日開催としていたが、クラブ数の減少に伴い1日開催としたが、市民の方にも公民館の活動について知ってもらえる機会となった。	A		○
4	生涯学習課	フレンドシップコンサート事業	II-1	I-5			○			○	青少年音楽団体の研鑽と交流を図り、地域の音楽活動を推進するとともに、青少年文化の向上を図ることを目的とし、6月に浪切ホールにて開催している。参加団体(市内の学校や青少年による吹奏楽・合唱グループ等)で構成する実行委員会が企画・運営を行っている。14団体が参加。	実行委員会による自主的、主体的な企画・運営を目指しているが、団体の役割分担の調整が必要。	より一層、参加団体が主体となり、企画・運営ができるようにしていく。	○	○	○	○		○						フレンドシップコンサート実行委員会	576		実行委員会形式で運営することにより、青少年と成人それぞれの活動団体の交流となり、青少年にとっては、未来の活動の支えとなっている。	A		○	
4	文化国際課	マドカ合唱祭	II-1	II-5			○			○	市内各所で活動している合唱の団体に、発表の場を提供するとともに他団体との交流を促進し、合唱活動を盛んにすることを目的として開催している。令和4年度は、一般の個人も参加できるオープニング合唱と、エンディング合唱は中止したが、感染対策を講じ3年ぶりに開催した。(参加16団体、346名)	事業のPR、観客マナーの向上、出演者の高齢化への対応。7月下旬開催のため、暑さ対策が課題。台風など自然災害時のシミュレーションが必要。	事業の内容を工夫、充実していき、合唱祭の活性化を図る。	○	○	○	○		○	○	○			マドカ合唱祭実行委員会	130		事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら内容を決めている。委員、また参加団体の意欲を高めていくため、仕組みづくりの強化が必要。	B		○		
4	人権・男女共同参画課	男女共同参画センター・大宮地区公民館合同まつり事業	II-1	II-5	II-6	○	○			○	男女共同参画センター、大宮地区公民館で活動するグループ間の交流、活動発表、及び地域住民との交流を図ることを目的に11/19・11/20に開催。来場者は合計1,395名。	これまで、男女共同参画センター、大宮地区公民館に来館されたことのない方に、おいでいただくための工夫が必要である。	事業の内容を工夫し、より多くの方に参加いただけるようPR方法を工夫し、地域を含めた館の活性化を図る。	○	○	○	○		○		○			大宮地区市民協議会	47		普段、センターにあまり来られない子育て世帯などにも多く来ていただけ、センターの周知ができた。また、男女共同参画登録グループ、大宮地区公民館登録クラブの交流の場にもなった。	A		○		

II-2. 高齢者、障害者等の文化活動の充実

★

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価					
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)	
4	障害者支援課	地域生活支援事業(ふれあい作品展)	II-2				○		○		障害者週間において、障害児(者)の作品を展示する作品展を開催し、障害児(者)への理解を市民に広めるとともに、障害児(者)の社会参加の機会を広げることを目的としている。	参加者(出品者)数…(児)900人、(者)9人	休日に開催してほしいとの要望がある。	作品展示等は、例年通り実施予定とする。(新型コロナウイルスの新たな変異株出現等により国府の要請があれば開催方法の変更或いは中止を検討する。)休日開催の要望については今後検討していく。	○	○	○	○		○		○			(作品を出品する)市内小・中学校、支援学校	273		作品展は本課が企画・運営しており、展示の際は本課職員、出展学校の職員や出展する障害者が協力し、円滑に展示できている。	A		○	
4	図書館	障害者サービス事業	II-2						○		毎月、岸視協だよりに掲載していただく「点字図書・録音図書貸出状況」の原稿作成。年に4回、声の新着図書案内の原稿作成(制作・配布は、朗読ボランティアひばりの協力で、岸和田市視覚障害者協会に委託)。録音図書(製作は朗読ボランティアひばりに委託)製作依頼、予約、取寄、貸出、国立国会図書館視覚障害者等用送信サービスへの提供、宅配。対面朗読。		必要としている方への周知	必要としている方へ利用できる形での資料の提供						○	○	○			社会福祉協議会	岸視協、点訳ボランティア、朗読ボランティア、点訳友の会キツツキ、点訳グループ灯り、点訳ボランティアグループルミエール	335		宅配サービスに、高齢者で図書館来館が難しい方にも利用してもらえるようになった。	A		○
4	福祉政策課	介護予防事業【高齢者趣味の作品展事業】	II-2	II-7					○		高齢者(岸和田市内に在住する概ね60歳以上の者)の豊かな経験と知識を活かし、生きがいや文化水準の向上、社会参加の促進を図るため、趣味の作品(短歌、俳句、川柳、俳画、書、陶芸、写真、絵画、手芸)を募集し、11月8日～10日の3日間、南海浪切ホールにて展示を行っている。		限られた予算での事業のため、展示会場の設営準備作業等を外注できず、苦慮している。	更なる世代間交流(特に若い世代)を図れるよう、事業内容を工夫、充実していく。	○	○	○	○		○	○	○	○			450		幅広く認知された事業であり、継続していくことが必要。	A		○	
4	福祉政策課	介護予防事業【生きがいと健康づくり推進事業】	II-2	II-7					○		高齢者(市労連に加入する単位老人クラブを対象)の社会活動や地域活動、スポーツ・文化・娯楽活動等の健康増進活動の促進を図っている。		趣味の多様化のため、一部では、限定された参加者での活動となっている。	主体的に活動する人員への支援、育成及び世代間交流を図る。	○	○	○	○			○	○			市老連及び単位老人クラブ	2,458	502	コロナ禍のなか、感染拡大防止のため一部活動中止となる影響もあったが、各単位老人クラブにおいて創意工夫を図り実施している。	A		○	

Ⅱ-3. 国内外の演奏家や芸術家による演奏会や展覧会の開催

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続		
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)								他団体(団体名等)	
4	文化国際課	塩田千春展	II-3							○	自泉会館を会場に、岸和田市出身で世界的に活躍している塩田千春氏の個展を開催。ホールでは、赤い糸を使った大規模なインスタレーションを、展示室では小品の他、塩田氏の活動を紹介するパネルや、制作時の映像などを流し、建物全体を使った展覧会を開催した。また、観光交流センターを会場に、若手アーティストによる市民向けの関連ワークショップを開催し、現代アートに接する機会が少ない方達にも、気軽に楽しんでもらう場を設けた。	駅からの道に案内板等を設置していなかったため、迷われる方がいた。	岸和田出身など、本市にゆかりのある方々のイベントを企画していきたい。						○	○	○	○	地方創造レター、毎日新聞、			11,818		展覧会の作品制作にあたって、本市ゆかりの若手アーティストや、市立中学校・高校の美術講師に参加してもらうなど、貴重な体験を提供した。また、展覧会の運営スタッフを市民から募集し、案内から誘導、簡単な説明などに携わってもらった。日本を代表する現代アート作家の一人である塩田氏とコラボすることにより、来場者から作品とともに建物も素晴らしいとの高評価を得ることができ、自泉会館の周知、魅力発信にもつながった。	A		○		
4	文化国際課	文化の日祝典	II-3	IV-2						○	11月3日文化の日に、本市の文化教育の振興に貢献した方々の功績をたたえ、祝典を開催。1部では功績のあった方々への表彰式、2部では関係者以外も鑑賞できる記念コンサート「時代を楽しむ音楽会 古典派編」を開催。1部出席者数343人、2部入場者数130人。	祝典を広く周知するため、幅広い方々に関心を持ってもらえるような記念事業の企画が必要。	今年度は3年ぶりに市展を開催することができ、入場者が増え、以前とほとんど変わらない状態の祝典を開催することができた。若い方の表彰も増えてきており、熟年の方との文化交流も活発になればよい。また、「文化の日」にふさわしい事業を企画し実施していくことで、文化の推進に寄与していく。							○	○	○		教育委員会	岸和田文化事業協会	356		2部では、泉州にゆかりのあるピアニストの演奏を中心にナビゲーターが曲を解説する音楽会を実施し、多くの市民に楽しんでもいただくことができた。	A			○	

Ⅱ-4. 文化団体への支援

	年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)						
	42	4 文化国際課	文化団体支援事業	Ⅱ-4							○	特定のジャンルに限らずに包括的な取り組みをしている岸和田市文化協会、岸和田文化事業協会の活動を支援し、多くの市民が参加できる取り組みを協同して推進している。	各文化団体会員の高齢化が進んでいるため、後継者となる若い世代の育成が必要	各文化団体の特色を生かした活動を今後も継続し、団体の活動内容を広く知ってもらう。	○	○	○	○			○	○	○			2,410		団体活動の一部を支援できた。	A		○	

Ⅱ-5. 文化事業への市民参画

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)							
4	文化国際課	文化事業への市民参画	II-5								広く市民が事業に参画できる文化事業の実施として、文化祭事業やマドカ合唱祭などがある。また、アウトリーチ事業では実施前・実施後に子どもの所属先関係者と対話を通じて、より丁寧な事業の実施を行っている。	参画の内容を適宜見直し、ブラッシュアップに努める。	今後も事業の内容により、参加者が参画できる事業立案をすることにより、文化事業が活性化、また市民の交流の場となるよう努める。					○											今後も参加者の意見を取り組みながら、ともに事業実施に取り組んでく。	A		○

Ⅱ-6. 文化交流の促進

															文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体							
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
4	図書館	ブックフェスタ事業	Ⅱ-6	Ⅲ-5			○	○	○	○	まちライブラリー、公共図書館、書店など「本がある場所(ブックスポット)」が協力し、それぞれの場所で本にまつわるイベントを開催する。 岸和田ブックフェスタ 15企画 300名参加	特になし	図書館に限らず、今後も他の施設や地域でも開催し、相互にゆるやかな交流を深められるような展開を目指す。	○	○	○	○		○	○		○		ブックフェスタ実行委員会				企画ごとの参加は少ないが、その分、関心のあるテーマを深く掘り下げることができるので、参加者全員が楽しめる場となっている。企画やチラシ等の準備など、少ないため、事務局としての負担なく継続できる。		A		○

Ⅱ-7. 生涯学習の推進と地域コミュニティの活性化

年度	担当課	事業名	＜基本目標・各方向性＞			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体			協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続				
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他								市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)		
4	図書館	図書館まつり開催事業	Ⅱ-7			○	○	○	○	○	令和4年度の図書館まつりは、10月2日(日)に開催した。新型コロナウイルス感染対策を考慮しつつ、本のリサイクル市をはじめ、喫茶コーナー、私のおすすめ本、ゆかた着付け教室、手作りワークショップ、自費出版展示コーナー等を開催し好評であった。参加者は625名であった。	メンバーの高齢化による体力的問題とスタッフ募集の拡充。	図書館内だけの事業だけでなく、市全体にむけたイベントの参加やPRの拡充。スタッフそれぞれが自主的に活動できるしくみづくりが今後の目標である。	○	○	○	○		○	○		○			岸和田市図書館友の会、岸和田みんなの図書館を考える会、若葉読書会、等				図書館まつりの新たなボランティアスタッフの参加で、今後のビジョンに沿った活動が期待できる。メンバーの絆も深まり自主的な活動が生まれ、これからの図書館運営に連携した取組ができることが目標である。	A		○		
4	図書館	友の会支援事業	Ⅱ-7							○	運営委員会(毎月1回)各教室、(文章、詩、短歌、俳句、岸和田再発見(毎月1回)総会の開催、図書館まつり(本のリサイクル)、文学歴史散歩、史跡を歩くツアー、公開講演会の開催5回、友の会ニュース(年4回)の発行。	講師、及び会員の高齢化	市民が興味・関心を持ち、参加してもらえる活動を続けていくことが今後の目標である。		○	○				○	○			図書館友の会	78			後方支援に努め、自主性を重んじた。	A		○			
4	図書館	読書会支援事業	Ⅱ-7							○	読書会への本の提供	読書会の減少とメンバーの高齢化	新規会員の募集はしているが、実際のところ増えていないので、友の会、図書館まつりなど既存の活動とも合わせて広げていく可能性を探る。		○					○			若葉読書会 星和台読書会				専門的な選書で本の確保が難しいが、協議を重ねることで、良い関係性が保たれていると考えている。	B		○				
4	生涯学習課	学び舎プログラム 学び舎ネットワーク(市立・市内センター4カ所)	Ⅱ-7							○	市内5カ所の市民センターと市立公民館を拠点とし、全世代を対象とした講座及び地域の人材育成に関する講座・イベントを実施する。令和4年度は岸和田市市制施行100周年記念事業として「好きを仕事にしよう」を行った。市立公民館を本会場とし、市内4カ所のセンターでライブビューイングを行った。第1部ではakane氏による講演会とアバンギャルディによるダンスパフォーマンス。第2部はアバンギャルディ及び市内高校3校のダンス部によるダンスパフォーマンスを行い、ダンス部に対する講評をakane氏よりいただいた。(市立86人、各センター22人)	公民館事業を知ってもらうために集客を見込める事業を行う必要がある。令和4年度は100周年記念事業であったため、事業費が増額となったが、令和5年度以降については、事業費が通常に戻るため、有名な講師を呼んだりと盛大に行うことが難しい。	全世代を対象とした、公民館を広く知ってもらえる活動を行っていく。	○	○	○	○		○	○		○		南海岸岸和田駅と春木駅にポスターを掲示した。			1,459			当初参加者を平成16年4月2日から平成22年4月1日生まれの在住・在学・在勤者を対象としていたためその他の方については申込をお断りしていたが、参加人数に余裕があったため、追加でライブビューイング会場については全世代対象とした。本会場では参加者はakane氏の経験に基づくお話を熱心に聞く姿が見られ、質疑応答も積極的であった。当初の募集の年齢以外の方からも本会場で見たいとの申し出があったため、ライブビューイング会場を案内したが、参加人数の増加には繋がらなかった。	A		○	
4	生涯学習課	学び舎プログラム まちづくり実践プロジェクト	Ⅱ-7							○	岸和田市市制施行100周年記念事業「岸和田の子どもたちの未来のためにできること」と題し、委託団体を募集した。プレゼンテーションの結果、工房バステルハウスが採択され委託事業として実施した。事業名「想いを形に 岸和田の未来」第1回「オリジナルはっぴをデザインしよう」(33人)、第2回「自己肯定感を高めるらくがきアート」(26人)、第3回「未来を担う子どもたちの心に寄り添うために～教育者にできることは～」(10人)、第4回「未来を担う子どもたちの心に寄り添うために～大人にできることは～」(16人)、第5回「こんな街に住みたいなあ！In岸和田」(6人)、第6回「もしもあなたが城主だったら？」(21人)を実施した。	プレゼンテーションに参加する団体の減少	事業の見直しを行い、市民が参加しやすい内容に工夫する。	○		○	○		○			○						417			プレゼンテーションの参加団体が1団体であった。第1回目と2回目は参加人数が多かったが、徐々に参加者が減少していったため、講座の周知方法の検討が必要であった。参加者は広い場所で絵を描いたり、ダンボールでお城を作成するなど、創造力を発揮し、親子でコミュニケーションを取りながら楽しんでいる様子が見受けられた。	B		○
4	八木市民センター	学級講座等運営事業	Ⅱ-7	Ⅰ-2	Ⅱ-1	○	○		○	○	定期(5講座)、短期(14講座)、女性学級及び高齢者大学を開設・運営した。公民館まつりは混雑し過ぎないよう、日程を分散するなど、コロナの感染対策を行い、開催した。	利用者の世代に偏りがある。	幅広い世代に利用してもらえるよう、講座等の内容を工夫する。	○	○	○	○		○		○	地元町会及び自治会回覧板	生涯学習課	登録団体	1,067			就学前の乳幼児対象の講座は、午後の開催になると、午睡と重なるため、参加が少なくなる。	A		○			
4	山直市民センター	学級講座等運営事業	Ⅱ-7	Ⅱ-1	Ⅰ-2	○	○		○	○	公民館の主催講座においては、受講者アンケート等を実施し、生涯学習課と調整を図り、市民のニーズに合う講座や時代の変化に対応する講座、学級を開設した。	利用者の高齢化。1時間単位の貸室で、部屋が借りやすくなったこともあり、有料団体としての利用は増えているが、クラブ登録がされない。	講座受講後に自主的な学習活動が継続できるような事業運営。	○	○	○	○		○		○	地元町会自治会回覧	生涯学習課	公民館登録クラブ等	919			3年ぶりに公民館まつりを開催するなかで、自然資料館の協力のもと短期講座を実施し、近隣住民に公民館と触れ合う機会を提供出来た。	A		○			
4	東岸和田市民センター	学級講座等運営事業	Ⅱ-7	Ⅱ-1	Ⅰ-2	○	○		○	○	定期講座は成人対象の「ルームアクセサリ」を開催し年間127名の参加。小学生対象の「キッズフラワー」は年間67名の参加。公民館登録クラブの活動発表の場として、ミニ発表会(展示・発表)を11月と3月に開催した。	ニーズと課題の調整。	自主的な学習活動への支援を継続する。活動団体と連携を図りながら事業運営を行っていく。	○	○	○	○		○			生涯学習課	公民館活動登録団体	850			昨年度に引き続き、利用者のニーズに応じた事業運営について検討する。	B		○				

基本目標Ⅲ まちの魅力を高める

Ⅲ-1. 歴史や文化財等への理解の促進と活用

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)							
4	観光課	城周辺整備計画推進事業	Ⅲ-1							○	石畳と淡い街灯まちづくり支援事業により整備された岸和田城周辺地区において、お城まつりなどのソフト事業を実施することで、交流人口の増加による賑わいの創出に取り組んだ。	次期岸和田城周辺整備計画の策定	ソフト事業を継続実施するとともに、次期計画の策定については、市庁舎建替えの方向性がある程度見極められた段階で検討していく。					○	○					水とみどり課、郷土文化課	岸和田市観光振興協会		156	市庁舎建替えの方向性が示されたことにより、休止していた本計画も再開を検討する。	B		○	
4	企画課	きしわだ地元川柳2022	Ⅲ-1				○	○	○	○	「きしわだ地元自慢、地元あるある」をテーマに「きしわだ地元川柳2022」を募集し、全527点の作品の中から、入選作品6点を決定した。	テーマ選定	実施の可否は企業との協議による。	○					○	○		○	広報広聴課	第一生命保険株式会社堺支社			企業のノウハウを生かし、市民参加による地域の魅力発信に取り組むことができた。	S	○	○		
4	丘陵地区整備課	お茶畑再生プロジェクト事業	Ⅲ-1	I-3			○				内畑町にてかつて栽培されていたお茶畑を地元の小学生(山滝小学校)とよみがえらせるプロジェクト。㈱伊藤園を講師に迎え、1年生はお茶についての講義を受けチャノキを鉢に植える。2年生は鉢植えからお茶畑へ移植する。6年生は茶葉の加工を体験する。	お茶畑の管理及び拡充。	本プロジェクトを引き続き行いながら、関係団体と協議し、内容について工夫していく。						○	○					ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会・株式会社伊藤園	276		コロナ感染対策を行い、事業を完遂した。かつて地元で行われていたお茶の文化に触れる機会として貢献した。	A		○	
4	郷土文化課	郷土資料等展示事業	Ⅲ-1	Ⅲ-2						○	岸和田城展示室において、郷土の歴史・文化を主テーマとした展示を実施。常設展に加えて、年3回の企画展を開催。また、市制施行100周年記念事業として、特別展「岸和田と岡部家」を開催し、図録を刊行。	展示内容の充実化	来場者に対して本市の歴史・文化を紹介することで、文化財を通じて本市の魅力を周知し、郷土愛を育む活動を行う。						○	○	○	○				6,837		来場者の増加のために、理解しやすい説明キャプションを作成する等、工夫を行った。また、事業の充実を図るため、より一層の周知をしていく必要がある。	A		○	
4	郷土文化課	郷土文化普及事業	Ⅲ-1	Ⅲ-2						○	市制施行100周年記念事業として、冊子『岸和田市の文化財』を刊行。市指定天然記念物夜疑神社社蔵に説明板を設置。市民センターで地元にて特化したパネル展の開催や小学校への出前授業を実施。当課所管資料のデータ化等。	設置した説明板の周知。身近な地域での講座等の拡大・充実。データ化の拡充。	身近な地域での講座開催や説明板を設置することにより、歴史文化財を周知し郷土愛を育む。資料の安定的な維持管理、活用の効率化を図る。						○	○	○					9,552		市民センターで当地域の文化財発掘に関するパネル展や歴史に関する出前講座を開催できたこと、また説明板を設置できたことは地域住民へ広く文化財を周知できた。データ化を実施し資料活用の効率化を図れた。	A		○	
4	郷土文化課	岸和田市地域文化財総合活用推進事業	Ⅲ-1	Ⅲ-2			○			○	令和4年度は、文化庁の地域文化財総合活用推進事業補助金の交付を受けて、市内32町のだんじり用具の修理を行った。	令和4年度については、コロナ対策もあり国補助金の交付額が、上限なしとなったため補助額ベースで約1億7000万円の事業を実施した。	事業団体から要望があれば今後も支援していく。									町会周知	応募のあった市内32町			事業団体への間接的な国費補助であるが、補助の結果、市への貢献は大きく、今後も継続していきたい。	B		○			
4	郷土文化課	文化財保存支援事業	Ⅲ-1	Ⅲ-2			○			○	主に、民俗文化財の継承、保存のための補助金の交付。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業が2件中止となる。	後継者の育成	指定文化財が後世へより良い形で継承、保存していけるように、保存会並びに所有者への支援を継続していく。	○	○	○	○		○						158		今後も保存会、所有者との連携の強化、保護に努めたい。	B		○		
4	郷土文化課	濱田青陵賞事業	Ⅲ-1	Ⅲ-2						○	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、座席を半分に減らして有観客での授賞式・記念シンポジウムを行った。並行して、Youtubeでの動画配信を行い、自宅等での観覧を可能とした。動画再生回数は600回を超えるため、通常の有観客開催より多くの方にご覧いただくことができた。	事業の周知方法。	考古学の学術文化賞では最高位の賞であり「考古学の芥川賞」と呼ばれる賞として認知度、ネームバリューを活かした観客のさらなる裾野の拡大を目指す。					○	○	○	○	朝日新聞の紙面	朝日新聞大阪本社文化部	2,446		あたらしい開催形態を模索しており、有観客と並行して濱田青陵賞運営協議会でYoutubeチャンネルを開設し運営するなど、新しい開催形態を提示、運用できた。	A		○			
4	観光課	岸和田城管理事業	Ⅲ-1	Ⅲ-4						○	指定管理者の自主事業で風鈴祭りや犬走公開イベントを実施し、魅力を向上させることに取り組んだ。また、天守閣望楼においては、岸和田城ウエディングを通年実施している。	利用者数が伸び悩んでいる。施設設備の老朽化が顕著である。	天守閣の耐震及び活用について、昨年度設置した委員会で、今後の計画を策定する。						○	○	○	○	水とみどり課、郷土文化課	岸和田市観光振興協会	22,928		岸和田城は、本市のシンボルであり歴史・文化・観光の拠点として位置づけられており、関係機関とも連携し、岸和田城の付加価値を高める取り組みを行っていく必要がある。	B		○		

Ⅲ-2. 伝統行事の保存・継承

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価				
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)							
4	観光課	だんじり会館指定管理事業	III-2				○			○	ミニだんじり工作、彫り師による実演などだんじり文化をPRするイベントを実施。だんじり祭に関わる文化の発信に努めた。	入館者数の停滞 施設設備の老朽化	指定管理者と連携し、全国的に知名度のある「だんじり」という他にない資源を最大限に魅力発信し、年中通じて活用できるブランド化に取り組む。令和5年の開業30周年に向けてリニューアルを実施する。						○	○	○	○			岸和田市観光振興協会	58,805		指定管理者や祭礼団体と連携し、だんじり文化に関するワークショップや展示に引き続き取り組んでいく。	B			○
4	観光課	だんじり祭支援事業	III-2							○	令和4年度だんじり祭は令和元年度依頼の通常開催となる中、コロナ対策を考慮した観光客の受入体制整備を行った。また、だんじり保存会への補助金を支出した。	観光客の一極集中化 ゴミ・トイレ・駐車場などの受け入れ環境の整備	観光客の受け入れ体制を整えるとともに、だんじり祭を側面・後方から支援することによって、明るく楽しい市民の祭りにしていく。	○	○	○	○		○	○	○	○			岸和田市観光振興協会、岸和田地車祭保存会、祭礼各団体	40,677		伝統的地域文化の継承を図るとともに、市民はもとより観光客に気持ち良く楽しい祭と感じてもらえるよう、関係団体とも連携し、祭の一層のブランド力の向上を目指す必要がある。	B			○

Ⅲ-3. 自然環境や景観との調和

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)							
4	丘陵地区整備課	岸和田グリーンビレッジ構想推進事業	III-3							○	本事業では都市・農・自然が融合したまちづくりを推進しており、事業の一環として丘陵地区に生息するフクロウをシンボルとして里山環境の再生保全を目的としてフクロウの森再生プロジェクトを実施している。自然エリアでは良好な里山環境の保全と創出を目指している。	広報活動の強化	継続してイベントを実施することにより、市民の自然への関心を高める。							○	○					ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会	491		イベントを通じて、取組みの趣旨を伝えることには一定の効果があった。今後は市主導の運営体制から協議会主体で取組みを進めてもらえるような組織体制の構築が必要。	A		○
4	環境保全課	環境保全事業	III-3							○	きしわだ環境フェア2022の開催。 例年よりも規模を縮小させ、パネル展示と啓発物品配布のみの実施とした。市内で環境保全活動に取り組む団体等の活動内容などについてパネル展示を通じて市民等知っていた機会となった。 参加者:387人(団体、職員含む)	これまでパネル展示や団体等のブース出展を行ってきたが、来場者は数百人程度にとどまり、高い啓発効果を見込めない状況で、数千人規模の参加が必要と考える。 準備から運営までのすべてを市職員で行っているため、行政と参加団体等との関係づくりに十分な時間を割くことができない。	下記の3点をコンセプトとして、イベント内容の見直しを検討する。 ① カーボンニュートラルの普及啓発による脱炭素行動の促進 ② 子どもから高齢者まで、各世代の人が楽しめる ③ 市民・団体・事業者・行政が、互いにつながることができる場							○	○				廃棄物対策課 企画課 郷土文化課(きしわだ自然資料館)	大阪湾環境保全協議会 大津川水域水質保全対策協議会 神於山保全くらぶ シャープ社友会 チーム神於山 パナソニック株式会社 岸和田市消費生活研究会 岸和田市食生活改善推進協議会 きしわだ自然友の会			例年よりも規模を縮小させての実施であったこともあり、参加者数が少なかった。令和6年度以降は、業務委託を視野に入れ、大規模開催を検討する。	B		○
4	環境保全課	自然環境保全事業	III-3							○	里山保全のボランティアに関心のある人に対し、里山及び里山保全活動に関する知識及び技術の基礎を講習することで、里山保全活動の担い手を育成した。 申込者数 19人	講座申込者数のバラツキがある。広報きしわだ等の募集について工夫が必要である。	里山保全活動の担い手が増え、活動の活性化を目指す。							○	○			○		NPO法人 神於山保全くらぶ	273		ほぼ計画どおり講座は開催された。引き続き事業を継続することで、里山保全活動の担い手が増え、活動の活性化が推進すると思われる。	A		○
4	都市計画課	景観形成事業	III-3							○	住み良い文化的で潤いのある美しいまちを創出するため、岸和田らしい景観を保全形成を目指す啓発事業の取組の1つとして、ここに残る景観資源発掘プロジェクトを実施。令和4年度は、「歴史・文化景観」について、応募件数47件の中から、まちかど審査(市内8か所延べ661人)により11箇所を景観資源として指定し、PRを実施。また、過去に応募されたもので、当時の募集テーマにそぐわない等の理由により指定されなかったものの中から、特に地域の魅力を高め、郷土への愛着や誇りの醸成と地域価値の向上に寄与するものを「特別編」として6件追加指定した。	発掘した資源を広く周知し、市民の景観に対する意識や地域への愛着の向上を図る。	様々な情報ツールを活用して、広報を強化するとともに、観光・教育や環境部局との連携を図り、幅広い年齢層への啓発を図ってきたい。							○	○	○	○	テレビ岸和田番組表(Vision)	各市民センター、図書館、産業高校学務課	和歌山大学、観光ボランティア協会、商工会議所、テレビ岸和田	1,321		ここに残る景観資源発掘プロジェクトは令和4年度で終了。今後はこれらの蓄積した景観資源を活用した啓発に努めたいと考えている。	A		○
4	都市計画課	景観形成推進事業・公共サインガイドライン	III-3							○	市内で掲出されている公共サインの多くは、備えなければならない機能が不十分であり、景観にも大きな影響を及ぼすことから、公共サインのルールとなる岸和田市公共サインガイドラインを令和2年度に策定。本ガイドラインは各施設管理者が理解し運用を行うもので、庁内及びその他の公共機関に呼びかけを行った。	公共サインを設置する際には景観に配慮したデザイン・数量・大きさとし、安全に配慮した定期的なメンテナンスを行うことが必要である。	本ガイドラインは各施設管理者が理解し運用を行うものであるため、今後も庁内及びその他の公共機関に呼びかけを行っていく。	○							○		公共サインを設置している課	岸和田市景観審議会、岸和田市環境デザイン委員会、大阪府			関係課から設置の計画段階で相談をいただき、ガイドラインに基づく設置と管理をしていただいている。	B		○		
4	都市計画課	歴史的景観保全支援事業(家屋修景助成)	III-3							○	住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区における家屋修景に対して支援を実施。	建築基準法の形態規制を遵守しつつ、本町の歴史的まちなみの特徴を備えた建築物に調和させることが困難な状況にある。	歴史的まちなみやこれと一体となり歴史的景観を形成している環境を保全し、住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区において家屋修景への支援を継続して行う。							○				歴史的町並み保全基金運営委員会	8,000		歴史的まちなみ保全地区において家屋修景を行うことにより、歴史的景観を形成している環境を保全し、住みよい文化的で潤いのあるまちの実現に寄与している。	A		○		
4	郷土文化課	自然資料館普及・展示事業	III-3				○	○		○	身近な自然の多様さを学び、郷土の自然と自然保護への理解を深め、地球環境や自然史科学についての関心を高めるため、野外観察会や室内講座、展示等の事業をコロナ前とほぼ同程度実施した。また、市制施行100周年記念事業として、岸和田の自然100年の変遷をふり返る特別展を開催した。	・学校園との連携強化 ・対面とオンラインを効果的に組み合わせた行事、出前授業等の継続 ・子育て支援等の社会的課題解決につながる取り組み	事業内容の質的向上および就学前児童向けプログラムの充実を継続し、自然環境や科学技術、博物館、SDGsに市民の関心を得るよう取り組む。						○	○	○	○	読売ファミリー、産経新聞、ここにご新聞の紙面	図書館、生涯学習課及び地区公民館・青少年会館、市民センター、水とみどり課、丘陵地区整備課	近隣博物館あるいは関連の自主活動グループ、NPO大阪自然史センター、きしわだ自然友の会、共和海建(株)、(株)日立ハイテク、京都産業大学等	21,560	10,365	普及・展示事業はおおむね通常の実施状況に戻り、参加・来場者数もほぼコロナ前と同レベルに復活しつつある。出前授業も対面実施が主流となったが、事前打ち合わせ等では、引き続きオンラインも有効に活用した。	A		○	
4	廃棄物対策課	まちを美しくする市民運動推進事業	III-3	II-1	I-5		○			○	まちの美化、青少年の健全育成、緑の保全及び推進について標語・ポスターを募集。標語213点、ポスター233点の応募があり、標語20点、ポスター30点を入選作品とし、表彰及び展示を行った。	特段なし	市内各校から広く応募できるように工夫しながら、応募数が増えるようにしたい。	○	○	○						各学校に応募依頼文書を送付	まちを美しくする市民運動推進協議会	165		市内の各団体で組織されている協議会の取り組みが理解され、市民に広がることを期待するために有意義な事業であると認識している。	A		○			

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価			
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)						
4	都市計画課	歴史的景観保全支援事業(団体活動支援)	Ⅲ-3	Ⅲ-5						○	住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区において景観啓発に寄与する団体(本町のまちづくりを考える会)の活動に対して支援を実施。考える会は様々な活動を行っているが、令和4年度は、地区内に犬矢来を4基新調する板塀プロジェクトや、まちづくりの館で季節に合わせた手作りの飾り付けを行う歳時記プロジェクトを実施した。	支援している団体における役員の高齢化が進んでおり、世代交代を模索している。	自主運営を基本としつつも、担い手育成や世代交代に関する情報を収集するなど、きめ細やかな情報提供を実施すべき。	○	○	○	○		○	○		○			本町のまちづくりを考える会、歴史的町並み保全基金運営委員会	100		対象団体の支援を実施することにより、歴史的まちなみ保全地区における景観啓発が実施され、住みよい文化的で潤いのあるまちの実現に寄与している。	A		○
4	丘陵地区整備課	第1回竹まつり	Ⅲ-3	Ⅲ-5						○	地域資源である「竹」をひとつの財産として考え、産官学民連携し地域主体で、継続的なイベント(竹資源の活用や循環を発信)を目指し、岸和田市の魅力をゆめみヶ丘岸和田から発信する。	広報活動の強化継続して実施するための運営体制構築	継続してイベントを実施することにより、岸和田の自然を広くPRする。				○		○	○			ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会	6,000		イベント準備の段階から取組みに関心のある人と繋がることで、岸和田の魅力を広く伝えることは一定の効果があった。今後は自立した運営体制の構築が必要。	A		○		

Ⅲ-5. イベントを活用した魅力あるまちづくり

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価		新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)						
4	企画課	市制施行100周年記念事業	III-5							○	令和4年度は、基本方針に基づき、様々な主体(市・市民・団体・企業等)が100周年記念事業(市主催事業、協賛事業、市民冠事業)が実施されるとともに、実行員会事業として「岸和田城EXPO～未来への想い TAKEAKARI～」や「キッチンカーマルシェ賑わい創出事業～きしめしグランプリ～」などを実施した。	・市民等への広報プロモーション・他課や民間事業者等の事業・イベントと内容や日程が重複するものがいくつかあったため、事前の連携・調整をより丁寧に行う必要がある。	令和4年度で事業期間を満了したが、事業の成果物や市制施行の周年事業運営のノウハウ等について、広く周知していくとともに、活用の場を検討していく。	○	○	○	○		○	○	○	○		岸和田市市制施行100周年記念事業実行委員会	45,889	1,828	関係各課、市民、団体、企業と連携し、多種多様な事業展開を実現できた。一方で、市制施行100周年の機運醸成や事業プロモーションについては課題が残った。	A		○	
4	都市計画課	街まちづくり支援事業	III-5				○		○	○	日常生活の中で誰もが利用する「駅」周辺を、地域住民を含めた関係者(鉄道・バス事業者、商店街、学校等)と行政が協働して「美しく個性がきらめき、魅力ある空間に再生」し、まちの活性化につなげていくプロジェクトを実施している。4月に参加者の方に、「ハンギングバスケット花苗配布」を行い、5月に「ガーデニングショウ」でそれぞれが育てた作品を展示し、駅周辺の活性化をした。	地域住民の参加者の高齢化が進んでおり、世代交代を進める必要がある。また、運営資金が減少してきている。	地域住民へのPRをより行い、参加者の世代交代を進める。市民団体等と運営資金等についても話し合いながら、地域住民の交流の促進や、駅周辺の活性化を進めていく。	○	○	○	○		○		○		東岸和田市民センター	旭・太田市民協議会、旭校区連合町会、太田校区連合町会、リハーブ全体管理組合、大阪府岸和田土木事務所	100		活動に地域住民を含めた関係者が関わることで、交流促進につながり、顔の見える関係性の構築につながっている。また、小中学生達の文化事業の充実にも寄与している。ガーデニングショウは、駅周辺の活性化に寄与し、周辺住民に幅広く認知されており、毎年楽しみにしているという声も多い。	A		○	
4	企画課	中心市街地活性化事業	III-5							○	岸和田市中心市街地活性化基本計画に沿って、各種事業を推進している岸和田TMO(商業まちづくり機構)、商工会議所等との共同事業として開催するイベントへの参画。	岸和田TMOとの関わり方や、部会事務局としての役割について整理が必要。	関係各課と連携し、中心市街地の活性化が図れるよう支援していく。	○	○	○	○		○	○	○	○	産業政策課・都市計画課	岸和田TMO、岸和田商工会議所	0(TMO支援事業として産業政策課の支援有)		各種事業について、庁内関係部局と連携しているところではあるが、より効果的な取組を実施するため、更なる連携強化が必要。	A		○	
4	広報広聴課	シティセールス推進事業	III-5							○	SNSを活用した市の魅力発信を目的として、市内外問わずインスタグラムユーザーを対象にインスタグラム上で「第5回きしわだフォトコンテスト」を実施。応募件数633件。また、普段からインスタグラムや市HPなどを利用していない方にも、コンテストの入選作品を見て岸和田市の魅力を知っていただくため、第1回～第4回のきしわだフォトコンテストの入選作品の巡回展示を行った。	岸和田市のファンの方が、写真以外の方法でも岸和田市の魅力を発信できる仕組みが必要。	岸和田市のファンの方が、岸和田の魅力を発信できる新たな仕組みを創出していく。	○	○	○	○		○	○		○				92		計画どおりに事業を行うことができた。また、巡回展示を行ったことにより、普段からインスタグラムや市HPなどを利用していない方にもきしわだしの魅力を知っていただくことができた。	A		○
4	広報広聴課	子どもたちと作る「岸和田市の魅力ガイドブック」	III-5				○			○	岸和田市の魅力を伝えるガイドブックを制作した。制作にあたり、岸和田市在住の小学3～6年生を対象に、写真撮影に関するワークショップの開催。参加者が撮影し取り集めたものを印刷し、イラストや文字を書き、素材を作成。作成した素材はガイドブックに掲載。	時間が経過すると、掲載内容の更新が必要になる。	作成したガイドブックを活用し、市内外の方に岸和田市の魅力を知っていただく。	○	○		○		○	○		○			2,970		計画通りに事業を行うことができた。また、子どもたちと一緒に制作することによりシビックプライドの醸成につながった。	A	○		
4	自治振興課	市民活動団体支援事業	III-5				○			○	市民フェスティバル中央公園にて開催。参加団体に模擬店、展示、フリーマーケット、地場産業振興等の場を提供し、岸和田市民相互のふれあいの場とし、市民参加の祭りの場として豊かで暮らし良い町づくりに寄与し、地場産業振興に貢献することを目的とする。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止。	事業を運営している実行委員会メンバーの高齢化が進み、担い手の育成が必要。	事業の内容を工夫や充実させ、市民フェスティバルの活性化を図る。	○	○	○	○		○		○		岸和田市民フェスティバル実行委員会		1,700	事業の運営、及び活動に対して補助金交付を行っているが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止。				○	
4	農林水産課	農業振興事業 農業まつり	III-5				○	○		○	市民の農業に対する理解や認識を深め、農業振興に資するため農業まつりを開催する。農業者の表彰、展示即売会、試食会、ステージ企画等を行い、農産物等の紹介、農林業の啓発と都市住民との交流等の機会の提供 入場者数は約8,000人 令和4年度はコロナ禍のため野菜・果樹等の販売のみを実施する農産物フェアとして実施した。	ステージ参加者や入場者のための駐車スペースが確保できない。参加団体には相乗りするなどの協力を依頼しているが、徹底されていない。	企画内容の工夫などをしていき、農業まつりの活性化を図る。			○			○		○	農協の広報紙		925	1,075	岸和田市において農業は主要な産業のひとつであり、その振興は今後も重要である。参加団体の意欲を高め、より協働できる仕組みづくりが必要。	A		○		

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)						
4	農林水産課	農業振興事業 農業体験	III-5			○	○			○	市民参加によるじゃがいも(34組)、サツマイモ(35組)の収穫体験	申し込みが多く抽選が必要	事業の内容を工夫し、参加者の拡充を図る。				○							きしわだ生き活 き農業応援団	500		参加者の満足度が高い。	A		○	
4	産業政策課	港振興協会助 成事業 (港まつり)	III-5							○	本市臨海部周辺地域の活性化や港湾の振興を図るため、「みなとオアシス岸和田」の構成施設等(アクアパーク等)においてイベントを開催し、臨海部への集客促進と認知度の向上を図った。 ■来場者数 2,500人(各コンテンツの利用者実績からの見込み数) ①ふれあい動物園 450名 ②レジャーシート配布数 600枚 ※2名に1枚配布 ③シティサップ 165名 ④無料シャトル船 1,733名	花火に代わる新しい港まつりの検討	令和5年度は、岸和田港振興協会70周年記念事業で実施した「乗船体験事業」の実施を予定				○				○				6,000		岸和田旧港緑地(アクアパーク)を中心に、「みなとオアシス岸和田」の構成施設の魅力が伝わるイベントの開催により、臨海部への集客促進と認知度の向上につながった。	A		○	
4	観光課	観光振興事業	III-5							○	城下町泊の機運醸成のための多聞櫓・隅櫓及び五風荘での宿泊体験の実証実験や、犬走公開、大阪城・尼崎城との連携など、岸和田城を中心に賑わいを創出する取り組みを実施した。	魅力ある地域資源の利活用が不十分である。 プロモーションをはじめとする効果的・効率的な情報発信が出来ていない。	平成28年度に策定した「第2次岸和田市観光振興計画」に基づき事業を推進していく。令和5年度に「(仮)第3次岸和田市観光振興計画」を策定予定。	○	○	○	○		○	○	○	○		岸和田市観光振興協会 岸和田商工会議所	25,798		新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなってきたおり、今ある魅力を活かすため情報発信の強化に取り組み、観光客数を増加させる必要がある。	B		○	
4	水とみどり課	ばらサミットinきしわだ2022	III-5	II-6	II-1					○	ばら制定都市会議式典(加盟都市首長らによる意見交換等)、記念植樹、ミニコンサート、コンテスト作品表彰、加盟都市及び泉州近隣都市による賑わいイベント等の事業を実施した。	日常業務に遅れが出たり、職員の時間外勤務が大幅に増加してしまったこと。	引き続き、加盟都市間での意見交換及び情報共有を通して、花と緑にあふれた魅力あるまちづくりを目指していく。	○	○	○	○		○	○	○	○		ばらサミット加盟都市、市内外各企業、岸和田市公園緑化協会	8,137		様々な事業を通して、幅広い年代の市民に、植物や文化の魅力に触れる機会を提供することができた。	A	○		

Ⅲ-6. 伝統工芸品の価値発信、新産業の創出

													文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体									
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
4	産業政策課	岸和田ブランド事業	III-6							○	岸和田らしさを備えた優れた産品を岸和田ブランドとして認定し、情報発信や販売促進を推進することで岸和田市の知名度向上を図っている。令和4年度は、14品目の再認定を行った。各種イベントにおいて岸和田ブランドのブースを出展し、PRを図った。	製品の研究開発及び販売促進	岸和田ブランドのさらなる認知度向上のために施策を展開していく。		○	○			○	○	○	○			岸和田商工会議所、泉州広告株、和歌山大学岸和田サテライト	1,873		岸和田ブランドの認知度のさらなる向上のため、新しい生活様式を意識しながら、多くの人の目に触れるように展示の拡充や各種イベント出展を行っている。		A		○

基本目標Ⅳ 未来へつなぐ

基本目標Ⅳ 未来へつなぐ

Ⅳ-3. 情報の収集、発信

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)							
4	全課	情報の収集、発信	Ⅳ-3							○	文化に関する公演・講座・各種イベント・助成等を周知するため、広報活動として市内公共施設でのポスター・チラシの配架、HP・SNSでの告知に努めた。また、特に文化施設3館では、市内外の関連公演等の情報発信に協力している。	多種多様な情報の収集、発信の手法についての検討をする必要がある。	今後も継続するとともに、情報発信と収集の手法については検討が必要。						○	○	○	○						現在、各課が中心となって広報に努めている。また、文化に関する情報を発信する立場からは、どのように情報収集と発信をしていくかを検討課題としていく必要がある。	A		○	
4	文化国際課	助成に関する情報の発信	Ⅳ-3								市HP(文化国際課ページ)において、文化芸術に関する助成の情報を発信。	発信による効果が不明。HPのみならず、他の手法も加えるなど周知の検討が必要。	今後も継続するとともに、情報発信の手法と周知に努めていく。						○	○								助成に関する情報をHPで発信している。情報収集し、適切に更新していく。また引き続きの継続とともに周知に努める。	A		○	

Ⅳ-4. 文化振興基金の活用

														文化活動の形態					広報活動の媒体					協働した団体									
年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)	事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価		自己評価	新規	継続	
4	文化国際課	文化振興基金の活用	IV-4							○	文化振興基金は、文化施設の修繕やソフト事業の実施に活用されている。現在、岸和田市ふるさと寄附金事業のなかの一つの選択肢として文化振興基金が位置付けられている。ふるさと寄附金事業を案内するチラシがあり、担当課が中心となって広報活動を行っている。(アートマルシェ事業費・アウトリーチ事業費・本市育成団体の指導者謝礼・姉妹都市締結事業費・塩田千春展・浪切ホール空調機修繕)	原資の確保と、基金の周知活動。	寄附者の満足度を高めていく活用方法を検討していく。						○	○			○		企画課		31,295		現在、ふるさと寄附金事業の周知方法はチラシ・専用ポータルサイトがある。また、基金の活用結果も同様に行っている。		A		○